

令和6年版

消防年報



有明広域行政事務組合消防本部

は じ め に

この年報は、令和5年における消防業務についての実績を収録し、今後の参考にするとともに、本組合の消防事情について広く紹介するため編集しました。

なお、統計図及び統計表に「年」とあるのは暦年を表わし、「年度」とあるのは会計年度で、「何年何月何日」とあるのは調査日を記載しました。

令和6年7月

有明広域行政事務組合消防本部

も く じ

○ 総 務

1	位置と地勢	1～2
2	常備消防のあゆみ	3～14
3	組合構成市町の面積・人口・世帯数	15
4	議会組織	15
5	組合組織	15
6	消防機構	16
7	消防力の現勢	17
8	消防庁舎の現況	18
9	消防職員の配置状況	19
10	消防吏員の年令・勤務年数調	19
11	消防吏員の特殊技能	20
12	消防職員の教養研修実施状況	21
13	消防予算及び構成市町別負担金内訳	22
(1)	令和6年度 消防予算	22
ア	歳 入	22
イ	歳 出	22
(2)	令和5年度 構成市町別負担金内訳	22

○ 警防・救急・救助

1	施設機械	23
(1)	消防車両等の配置状況	23
(2)	主要器具の配置状況	24
ア	消火・救助活動用備品	24～26
イ	救急用備品	27
(3)	消防車両等の状況	28～29
(4)	消防水利現況	30
2	救急・救助	31
(1)	救急出場状況	31
(2)	署所別救急出場状況	32
(3)	市町別救急出場状況	33
(4)	医療機関別搬送人員	34
(5)	市町別医療機関数	34
(6)	年別救急出場状況（過去10年間）	35
(7)	高速道路救急業務実施状況	36
ア	担当区間	36
イ	救急出場状況	36
3	応急手当講習修了者数(過去5年間)	36
4	有明地域メディカルコントロール協議会活動状況	37
5	消防機関の活動状況	37
6	救助活動状況	38
(1)	事故種別出動件数	38

○ 通 信	
1 通信施設	39
(1) 消防救急無線電話設置状況	39
(2) 有線電話架設状況	39
2 119通報受信状況	40
○ 予 防	
1 防火対象物の現況（150㎡以上の棟数を計上）	41
2 建築確認同意事務処理状況	42
3 中高層建築物（4階以上）の現況	43
4 防火対象物定期点検報告制度の現況	44
5 特例認定通知書交付状況	44
6 防火管理講習会実施状況	45
7 各種届出事務処理状況	45
8 荒玉地区幼少年女性防火委員会	46
9 有明地区危険物安全協会	47
10 危険物施設状況	48
(1) 類別危険物施設の数調	49
(2) 数量別危険物施設の数調	50
11 危険物施設の許認可状況	51
○ 火 災 状 況	
1 火災概況（過去5年間）	53
2 出火件数・損害額状況（総括表）	54
(1) 市町別火災状況	55
(2) 火災種別件数比較表	56
(3) 市町別火災発生件数	56
3 火災原因別出火件数調	57
○ 消 防 団	
1 有明広域消防連絡協議会の組織	59
2 市町別消防団員数調	59
3 市町別消防団の消防車等保有状況	60
〈参考〉	
組合関係者名簿	61～62
(1) 組合役職者名簿	61～62
(2) 組合議員名簿	61～62
(3) 消防団長等名簿	61～62

一 目 統 計

(令和6年4月1日)

面積・人口・世帯	面 積	人 口	人口密度	世 帯 数
	421.44 km ²	150,779人	358人/ km ²	69,895世帯

予算・機構・人事	消防予算	署 所 数	職 員 数	消防団員数
	2,897,591千円	消防本部 1 消防署 2 分署 6 庁舎 1	定数 230人 実数 222人 救急救命士 64人	定数 3,630人 実数 3,058人

機械・施設	水積載車	特殊車両	救 急 車	水 利
	タンク車 9台 水槽車 1台 化学車 1台 ポンプ 3台	はしご車 2台 救助工作車 2台 支援車 1台 資機材搬送車 2台	高規格救急車12台	消火栓 2,245基 防火水槽 1,218基

火災・救急・救助	火災件数	出火原因	救急件数	救助件数
	110件 約3.3日に 1件の割合 で発生	1位 たき火 34件 2位 その他 15件 3位 火入れ 11件	8,832件 1日当たり 約24件	121件 約3日に 1件の割合 で発生

予 防	防火対象物	危険物施設	防火訓練指導状況	防火クラブ
	5,127件 うち8条対象物 2,589件	製造所 9件 貯蔵所 258件 取扱所 222件	訓練回数 1,071件	女性防火クラブ 2 幼年消防クラブ30 少年消防クラブ 0

総

務



1 位置と地勢

当組合は、熊本県の北西部に位置し、東西20km、南北30kmで有明海に面する臨海部、これとつながる玉名平野、北東部に広がる中山間部からなっている。

県立公園小岱山を中心に市町数2市4町、面積421.44km²、人口150,779人(令和6年4月1日住民基本台帳)の、有明広域市町村圏である。

消防本部及び玉名消防署は、管内の中心部(東経130度31分、北緯32度55分)に位置し、西部に荒尾消防署を配し、防災治安の維持にあたっている。



2. 常備消防のあゆみ

年 月 日	沿 革
昭和22年 12月 23日	消防組織法の公布
昭和23年 3月 7日	消防組織法の施行に基づき自治体消防制度発足
昭和26年 1月 1日	荒尾市に「荒尾市消防本部」が発足
昭和38年 11月 1日	玉名市に「玉名市消防本部」が発足
昭和47年 4月 1日	昭和47年3月13日地方自治法第284条第1項の規定に基づき一部事務組合が、熊本県指令地第198号で設置許可されたことにより、消防本部1、消防署2、分署1、消防職員89名の現有組織をもって、2市8町を構成母体とし「有明消防組合」が発足し、消防本部を荒尾消防署内に置き業務を開始した。 組合の初代管理者には玉名市長の橋本二郎氏が就任されるとともに、第1回組合議会が招集され、初代議長に横島町選出議員の沼垣功氏が就任、有明消防組合条例等が議決された。 (条例職員定数115人) 初代消防長に宮川行雄任命される。
4月11日	消防吏員27名採用
4月28日	指揮車購入、消防本部に配置
10月 1日	南関分署・天水分署業務開始（仮庁舎）
10月18日	日本道路公団から救急自動車（2台）の寄贈を受け、南関分署・菊水分駐所へ配置
10月19日	菊水分駐所業務開始（仮庁舎）
昭和48年 2月 8日	現調車購入、消防本部に配置
3月 8日	天水分署庁舎開庁式
3月 9日	消防専用無線基地局、南関、天水分署に設置
3月30日	監視用テレビ玉名消防署に設置
4月 1日	職員定数「158人」となる。 消防吏員43名採用
4月11日	南関分署庁舎開庁式
5月 1日	職員定数「161人」となる。
7月 5日	菊水分駐所庁舎開庁式
7月10日	日本競輪組合から広報車の寄贈をうけ、消防本部に配置
8月22日	広報車購入、玉名消防署に配置
9月25日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（スノーケル車）購入、消防本部に配置
10月25日	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置

昭和48年	12月14日	広報車購入、荒尾消防署に配置
	12月25日	長洲分署業務開始（仮庁舎） 救急自動車購入、長洲分署に配置
昭和49年	2月14日	日立造船株式会社から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け「有明号」と命名し、荒尾消防署に配置
	2月27日	消防専用無線基地局、長洲分署に設置
	4月 1日	職員定数「165人」となる。
	8月13日	長洲分署開庁式
	10月10日	荒尾市大正町「きぬや九番街」建物火災において消火救助活動中の職員1名が殉職
	11月19日	消防ポンプ自動車2台購入、荒尾・玉名消防署に配置
	12月27日	消防本部「玉名市築地468番地」の新庁舎へ移転
昭和50年	1月 1日	職員定数「170人」となる。
	1月18日	消防本部庁舎落成式
	4月 1日	菊水分駐所を「分署」に昇格 職員定数「176人」となる。 消防吏員13名採用
	4月 7日	三加和分駐所業務開始
	10月 1日	「有明広域消防連絡協議会」発足（関係市町消防団・有明消防組合） 救急業務協力推進事業実施、荒尾医師会と委託契約締結
	10月27日	消防専用無線基地局、三加和分駐所に設置
	11月27日	管内危険物施設関係者により「熊本県危険物安全協会有明支部」を結成
	12月 8日	破壊装置付屈折放水塔車（スクアート車）購入、荒尾消防署に配置
昭和51年	3月 4日	本組合が優良消防機関として、昭和50年度消防庁長官表彰“竿頭綬”を授与される。
	3月 9日	水槽付消防ポンプ自動車を購入、玉名消防署に配置
	5月18日	玉東分駐所業務開始（開庁式）
	9月28日	水槽付消防ポンプ自動車2台を購入、三加和・玉東分駐所に配置
	11月26日	消防無線基地局、玉東分駐所に設置
	12月 7日	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
	12月23日	広報車3台購入、緑丘分署・菊水分署・三加和分駐所に配置
昭和52年	2月 1日	大牟田市・荒尾市・南関町及び有明消防組合で消防相互応援協定が締結された。
	4月19日	消防機材輸送車を購入、消防本部に配置
	5月29日	玉名ロータリークラブから広報車の寄贈を受け、「ロータリー号」と命名し、消防本部に配置
昭和53年	7月11日	第4回熊本県消防救助技術大会が、本組合本部を開催地として実施された。

昭和53年	8月16日	荒尾消防署庁舎開庁式
	9月 1日	消防吏員2名採用
昭和54年	3月14日	小型動力ポンプ付水槽車（10 t）を購入、消防本部に配置
	4月 1日	熊本県防災無線が消防本部に設置され運用開始
	4月12日	液化ブタンガス導管理設に伴い、荒尾市・有明消防組合・三井コークス販売（株）において「災害防止協定」が締結された。
	6月 1日	消防吏員3名採用 都市ガス導管理設に伴い、荒尾市・有明消防組合・九州ガス圧送（株）において「災害防止協定」が締結された。
	7月 2日	都市ガス導管理設に伴い、玉名市・岱明町・横島町・天水町・長洲町・有明消防組合・九州ガス圧送（株）において「災害防止協定」が締結された。
	8月 2日	荒尾市消防団大分団結成式
昭和55年	2月18日	玉名消防署救急自動車更新
	3月29日	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
	4月 1日	職員定数「184人」となる。
	5月 1日	消防吏員9名採用
	6月19日	緑丘分署増改築工事完成
	9月 3日	日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置
	9月22日	三加和分駐所増築工事完成
	11月19日	玉東分駐所増築工事完成
昭和56年	1月 1日	三加和・玉東分駐所救急業務開始
	2月 7日	玉名消防署庁舎開庁式
	11月15日	玉名ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け「玉名ライオンズ号」と命名し、玉名消防署に配置
	12月 4日	長洲分署広報車更新
昭和57年	3月23日	消防本部水槽付消防ポンプ自動車・救急自動車更新
	4月 1日	職員定数「192人」となる。
	10月 2日	消防吏員3名採用（補充）
	11月22日	菊水分署庁舎増築工事完成
昭和58年	4月 1日	消防吏員8名採用 三加和・玉東分駐所を「分署」に昇格
	4月 7日	玉東分署救急自動車更新
	6月 1日	消防吏員2名採用
昭和59年	1月23日	三加和分署救急自動車更新
	3月23日	玉名消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	3月31日	長洲分署電動式ホース乾燥塔完成

昭和59年	6月 1日	組合産業医委託契約（玉名市築地、馬場内科医院）
	9月21日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車「火災保険号」の寄贈を受け長洲分署に配置
	12月19日	南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新
昭和60年	3月 2日	菊水分署救急自動車更新
	3月 4日	南関分署救急自動車更新
	12月 3日	南関分署・天水分署・玉東分署消防連絡車更新（軽自動車採用）
	12月14日	菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新
昭和61年	3月31日	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、長洲分署に配置
	4月 1日	消防吏員5名採用
	4月12日	玉東分署庁舎移転業務開始
	12月 5日	荒尾消防署・玉名消防署広報車更新
昭和62年	2月27日	荒尾消防署消防ポンプ自動車更新
	3月17日	荒玉地区幼少年婦人防火委員会、荒玉地区幼年消防クラブ連絡協議会結成
	5月 6日	消防本部警防車更新
	9月 8日	第1回屋内消火栓操法競技大会開催（於：玉名市桃田運動公園グラウンド）
	9月18日	第1回大規模災害救出救護訓練実施（於：岱明町）
	11月16日	菊水分署電動式ホース乾燥塔完成
	11月21日	消防本部庁舎外柵工事完成
	12月16日	玉名消防署消防ポンプ自動車更新
昭和63年	1月20日	救助工作車を購入、消防本部に配置
	3月 5日	緑丘分署救急自動車更新
	3月 9日	自治体消防制度40周年記念式典が日本武道館において開催された。
	4月 1日	消防吏員3名採用
	8月15日	荒尾消防署倉庫新築工事完成
	9月14日	第1回熊本県消防剣道大会が熊本武道館で開催される。
	10月22日	消防本部連絡車（総務車）更新
	10月28日	第1回荒玉地区幼年消防大会を荒尾総合文化センターで開催した。
平成元年	1月20日	荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	1月25日	玉名消防署救急自動車更新
	4月24日	荒尾消防署救急自動車更新
	6月21日	人員輸送車（マイクロバス26人乗り）を購入、消防本部に配置
	7月10日	三加和分署庁舎移転業務開始
	10月14日	消防吏員1名採用
	12月18日	三加和分署・菊水分署消防連絡車更新
	12月21日	荒尾消防署広報車更新

平成元年 12月21日	職員定数「200人」となる。
平成 2年 4月 1日	消防吏員10名採用
10月14日	荒尾ライオンズクラブから救急指導車（荒尾ライオンズ号）及び蘇生法訓練人形の寄贈を受け荒尾消防署に配置
平成 3年 2月 7日	日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、天水分署に配置（更新）
3月 6日	玉東分署水槽付消防ポンプ自動車更新
4月 1日	消防吏員3名採用
7月24日	消防本部救助用ボート更新
10月 1日	日本消防協会から救急自動車の寄贈を受け、消防本部に配置（更新）
平成 4年 2月26日	三加和分署水槽付消防ポンプ自動車更新
4月 1日	消防吏員2名採用
6月 1日	消防本部指揮車更新
9月 3日	有明消防組合組合章制定
10月 9日	緑丘分署水槽付消防ポンプ自動車更新
10月15日	玉名消防署梯子自動車配備
10月27日	組合設立20周年記念行事開催（於：玉名市）
平成 5年 4月 1日	消防吏員4名採用
4月 6日	玉名ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け、「ライオンズ号」と命名し、玉名消防署に配置
4月13日	消防本部車庫兼体力練成施設（トレーニングセンター）落成式
10月30日	三の岳消防無線中継局舎完成
11月19日	通信指令施設導入に伴う、消防本部庁舎改築工事完成
平成 6年 4月 1日	平成6年3月24日地方自治法第284条第1項の規定に基づく有明広域行政事務組合が、熊本県指令地第88号により設立される。組合の初代代表理事には、玉名市長の松本虎之助氏が就任されるとともに初代議長に菊水町選出議員の辻巽氏が就任された。
	消防本部警防課に通信指令室を設置し、通信指令施設運用開始
	消防吏員1名採用
6月21日	有明地区危険物安全協会設立20周年記念式典開催（於：玉名市民会館）
8月26日	災害弱者緊急通報システムセンター運用開始
9月 1日	初代消防長に原口富雄任命される。
10月 1日	消防吏員3名採用
平成 7年 1月19日	阪神・淡路大震災（平成7年1月17日発生）救援活動のため兵庫県神戸市へ救助隊を派遣
3月 2日	高規格救急自動車購入、玉名消防署に配置（更新）
4月 1日	消防吏員3名採用

平成 7年 6月30日	緊急消防援助隊を発足
7月31日	日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、荒尾消防署に配置
8月 2日	消防本部予防車更新
9月25日	消防本部資機材輸送車更新
10月 1日	消防吏員3名採用
10月18日	荒尾消防署梯子自動車配備
10月21日	救急基金チャリティーゴルフ大会が中九州ゴルフ倶楽部で開催された。
11月28日・29日	緊急消防援助隊の合同訓練が東京ガス豊洲工場跡地で実施された。
平成 8年 4月 1日	通信指令室を「課」に昇格
4月 2日	玉東分署救急自動車更新
4月16日	高規格救急自動車購入、荒尾消防署に配置（更新）
平成 9年 4月 1日	消防吏員11名採用
4月15日	熊本県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、三加和分署に配置（更新）
10月26日	組合設立25周年記念行事開催（於：荒尾市）
11月11日	南関分署・天水分署・玉東分署連絡車更新
平成10年 2月19日	菊水分署救急自動車更新
2月24日	南関分署救急自動車更新
3月24日	消防本部水槽付消防ポンプ自動車更新
	消防吏員8名採用
11月26日	玉東分署電動式ホース乾燥塔完成
	消防本部通信指令課広報車更新
	玉名消防署広報車更新
平成11年 2月12日	長洲分署救急自動車更新
4月 1日	消防吏員2名採用
6月29日	消防本部警防車更新
平成12年 4月 1日	消防吏員1名採用
4月11日	平成12年度熊本県消防長会春季総会及び第23回熊本県消防職員意見発表会が玉名市で開催された。
7月 3日	消防本部総務車更新
8月18日	第29回全国消防救助技術大会が熊本市において開催された。
10月20日	第8回熊本県幼年消防大会が荒尾総合文化センターにおいて開催された。
10月24日	緊急消防援助隊全国合同訓練が東京都江東区で開催された。
11月7日・8日	第3回熊本県下消防大規模災害対応訓練が玉名市桃田運動公園において開催された。
12月21日	長洲分署水槽付消防ポンプ自動車更新

- 平成13年 2月 9日 緑丘分署救急自動車更新
- 4月 1日 消防吏員5名採用
- 8月 3日 玉名消防署、南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 10月18日 横浜市で開催された第15回全国女性消防操法大会に長洲町婦人消防団が出場
- 12月26日 消防本部・天水分署救急自動車更新
- 平成14年 4月 1日 職員定数「204人」となる。
消防吏員7名採用
- 6月 3日 有明地区危険物安全協会会長立川博道氏が危険物保安功労者として消防庁長官から表彰された。
- 9月 1日 熊本県総合防災訓練が南関町で実施された。
- 10月 1日 情報基盤整備事業の一環として、パソコン76台を配備し、仮稼働を開始。
- 10月 9日 荒尾消防署広報2号車更新
- 11月12日 広域消防発足30周年記念式典及び第7回荒玉地区幼年消防大会を玉名市民会館一帯で開催した。
荒尾市の長崎武氏から「ミニ消防車」の寄贈を受け、荒尾消防署に配置。
- 平成15年 1月21日 天水分署・菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 1月23日 有明地域メディカルコントロール協議会が設立される。
- 4月 1日 消防吏員4名採用
消防ITシステムの本格稼働を開始
- 4月25日 玉名消防署梯子車分解整備
- 6月20日 第29回熊本県消防救助技術（水上）大会が荒尾市民プールで開催される。
- 10月10日 荒尾消防署広報車更新
- 平成16年 2月25日 消防本部小型動力ポンプ付き水槽車（10 t）更新
- 4月 1日 職員定数「210人」となる。消防吏員8名採用
荒尾・玉名両消防署の消防ポンプ自動車更新
- 8月 1日 当消防本部のホームページを開設
- 11月26日 玉名消防署高規格救急車更新
- 平成17年 3月25日 消防本部救助工作車更新
- 4月 1日 消防吏員7名採用
- 10月 3日 玉名市、岱明町、横島町及び天水町が合併し、新「玉名市」が発足。
- 10月17日 予防課防火号更新
- 11月 3日 荒尾消防署梯子車分解整備
- 12月15日 荒尾消防署高規格救急自動車更新
- 平成18年 2月 1日 荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
- 3月 1日 菊水町及び三加和町が合併し、和水町が発足。

平成18年	3月 1日	菊水分署を「和水菊水分署」に、また三加和分署を「和水三加和分署」にそれぞれ名称が変更される。
	4月 1日	消防吏員4名採用
	10月 1日	玉名消防署指揮車更新
	11月24日	第1回熊本県消防広域再編検討会が開催される。
平成19年	3月27日	ユニック付き資機材搬送車配備
	4月 1日	消防吏員13名採用
	7月 1日	消防本部ホームページをリニューアル開設
	11月 1日	有明地域住宅防火対策推進協議会が設立される。
平成20年	3月26日	荒尾消防署・玉名消防署仮眠室一部改修
	3月28日	高機能通信指令システム竣工式
	4月 1日	消防吏員8名採用 本部中央機動隊を玉名消防署西分署とし、救助工作車及び資器材搬送車を玉名消防署に配備替えする。玉名消防署梯子自動車分解整備（2回目）
	5月26日	熊本県消防広域化推進計画が策定される。
	6月20日	第34回熊本県消防救助技術（水上）大会が玉名市民プールで開催される。
	12月 1日	消防本部指揮車更新
平成21年	3月10日	玉東分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4月 1日	消防吏員8名採用 消防本部に救急課及び警防課と通信指令課を統合し、警防情報指令課を設置
	8月 3日	南関分署耐震補強工事完了
	11月19日	玉東分署に高規格救急車を配置
	12月14日	荒尾消防署水槽付消防ポンプ自動車更新 和水三加和分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	12月22日	日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、南関分署に配置
	12月25日	支援車を新規整備し、消防本部に配置
	12月28日	玉名消防署高規格救急車更新
平成22年	3月19日	荒尾消防署高規格救急自動車更新
	4月 1日	消防吏員12名採用
	8月20日	和水三加和分署に高規格救急自動車を配備
	8月28日	長洲分署に高規格救急自動車を配備
	9月 3日	和水菊水分署に高規格救急自動車を配備
平成23年	1月14日	荒尾消防署梯子自動車分解整備
	3月14日	東日本大震災（平成23年3月11日発生）災害支援活動のため、緊急消防援助隊として仙台市へ延べ8隊24人を派遣
	3月29日	荒尾消防署救助工作車更新

平成23年	4月 1日	消防吏員11名採用
	10月 3日	消防本部予防広報車更新
平成24年	4月 1日	消防吏員11名採用
	7月12日	九州北部豪雨災害（平成24年7月12日発生）災害支援活動（熊本県市町村消防相互応援協定に基づく）のため、阿蘇市へ延べ15隊67人を派遣
	12月17日	天水分署に高規格救急自動車を配備
平成25年	2月22日	玉名消防署梯子自動車更新
	4月 1日	消防吏員8名採用
	10月10日	平成25年度熊本県消防長会秋季総会が荒尾市で開催された。
	12月11日	西分署に高規格救急自動車を配備
平成26年	1月17日	第11回全国消防長会九州支部消防情報通信シンポジウムが玉名市で開催された。
	3月24日	荒尾消防署「荒尾市宮内字松ヶ浦1027番地9」の新庁舎へ移転 また、災害情報指令センターを同消防庁舎3階に併設し運用開始 消防本部配備の支援車及び指令車並びに西分署配備の水槽車を荒尾消防署に配備 替えする。
	4月 1日	消防吏員8名採用 消防本部の救急課及び警防情報指令課を消防課及び指令課に改編
	11月21日	玉名消防署指揮車更新
	12月15日	玉名消防署高規格救急自動車更新
平成27年	1月14日	南関分署、和水菊水分署及び和水三加和分署連絡車更新
	4月 1日	消防吏員8名採用
	12月25日	緑丘庁舎高規格救急自動車更新
平成28年	1月28日	玉名消防署に化学消防ポンプ自動車を配備
	4月 1日	消防吏員3名採用
	4月14日	熊本地震（平成28年4月14日前震発生）（平成28年4月16日本震発生）災害支援 活動（熊本県市町村消防相互応援協定に基づく）のため、益城町・阿蘇市へ延べ 16隊70人を派遣
	4月21日	荒尾消防署梯子自動車分解整備（2回目）
平成29年	1月27日	長洲分署及び緑丘庁舎水槽付消防ポンプ自動車更新
	4月 1日	消防吏員4名採用
	7月 5日	平成29年7月九州北部豪雨（平成29年7月5日発生）災害支援活動のため、緊急消 防援助隊として福岡県朝倉市及び大分県日田市へ延べ8隊80人を派遣
	11月30日	第60回熊本県救急教育セミナーが荒尾市で開催された。
平成30年	3月27日	南関分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4月 1日	消防吏員5名採用
平成31年	4月 1日	消防吏員5名採用

平成31年	4月 1日	荒尾消防署及び玉名消防署の総務課、警防1課及び警防2課を指導課、警防1課及び警防2課に改編 特別救助隊が荒尾消防署及び玉名消防署に発足
令和元年	8月28日	令和元年佐賀豪雨（令和元年8月27日発生）災害支援活動のため、緊急消防援助隊として佐賀県武雄市及び杵島郡大町町へ延べ2隊24人を派遣
	10月 4日	荒尾消防署指揮車更新
	12月 9日	長洲分署及び南関分署高規格救急車更新
令和2年	3月 2日	荒尾消防署高規格救急車更新
	4月 1日	職員定数「220人」となる。 消防吏員7名採用
	7月 4日	令和2年7月豪雨（令和2年7月3日発生）災害支援活動（熊本県市町村相互応援協定に基づく）のため、水俣市、葦北郡芦北町及び津奈木町、八代市坂本町、人吉市へ延べ22隊82名を派遣
	12月 9日	天水分署及び和水菊水分署水槽付消防ポンプ自動車更新
	12月16日	荒尾消防署25m級屈折はしご付消防自動車を配備
令和3年	2月 5日	玉名消防署救助工作車更新
	3月 1日	消防本部・玉名消防署「玉名市築地309番地1」の新統合庁舎へ移転 また、ありあけ防災館（防災学習センター）を同消防庁舎1階に併設し運用開始 荒尾消防署配備の支援車及び水槽車を玉名消防署に配備替えする。
	4月 1日	消防吏員10名採用
	7月 1日	長洲分署「長洲町大字清源寺415番地1」の新庁舎へ移転
	10月 1日	南関分署「南関町大字関町8番地1」の新庁舎へ移転
	11月 9日	消防本部に予防連絡車及び荒尾消防署に連絡車を配備
	12月13日	玉名消防署広報車更新
令和4年	1月27日	天水分署及び玉東分署高規格救急車更新
	3月 7日	荒尾消防署及び玉名消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	4月 1日	消防吏員7名採用
令和5年	2月28日	玉名消防署及び和水菊水分署高規格救急車更新
	4月 1日	消防職員7名採用
	8月29日	職員定数「230人」となる。
令和6年	2月 5日	荒尾消防署広報車更新
	2月14日	和水三加和分署高規格救急車更新
	4月 1日	消防吏員6名採用

歴代管理者並びに歴代代表理事
有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	橋本 二郎	昭和47年4月1日	2年	玉名市長
二代	橋本 二郎	昭和49年4月29日	3年	玉名市長
三代	鴻江 勇	昭和52年5月24日	3年8ヶ月	荒尾市長
四代	鴻江 勇	昭和56年2月17日	3年11ヶ月	荒尾市長
五代	鴻江 勇	昭和60年2月13日	1年11ヶ月	荒尾市長
六代	松本 虎之助	昭和62年2月3日	9ヶ月	玉名市長
七代	松本 虎之助	昭和62年11月4日	3年11ヶ月	玉名市長
八代	松本 虎之助	平成3年10月30日	2年5ヶ月	玉名市長

有明広域行政事務組合

初代	松本 虎之助	平成6年4月1日	1年6ヶ月	玉名市長
二代	松本 虎之助	平成7年10月30日	4年	玉名市長
三代	北野 典爾	平成11年10月30日	3年2ヶ月	荒尾市長
四代	吉田 勝也	平成15年1月18日	1年	天水町長
五代	高畠 哲哉	平成16年1月18日	1年	玉名市長
六代	高畠 哲哉	平成17年1月18日	2ヶ月	玉名市長
七代	前畑 淳治	平成17年4月1日	2年	荒尾市長
八代	島津 勇典	平成19年4月1日	2年	玉名市長
九代	前畑 淳治	平成21年4月1日	2年	荒尾市長
十代	高畠 哲哉	平成23年4月1日	2年	玉名市長
十一代	前畑 淳治	平成25年4月1日	1年9ヶ月	荒尾市長
十二代	高畠 哲哉	平成27年1月18日	2年10ヶ月	玉名市長
十三代	前田 移津行	平成29年11月13日	2年4ヶ月	玉東町長
十四代	浅田 敏彦	令和2年4月1日	2年	荒尾市長
十五代	藏原 隆浩	令和4年4月1日	2年	玉名市長
十六代	浅田 敏彦	令和6年4月1日	現在	荒尾市長

歴代議長
有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	沼垣 功	昭和47年4月1日	3年2ヶ月	横島町議員
二代	浦田 正行	昭和50年6月7日	2年4ヶ月	長洲町議員
三代	福山 深	昭和52年11月2日	1年8ヶ月	三加和町議員
四代	多田 隈 強	昭和54年7月17日	2年8ヶ月	南関町議員
五代	多田 隈 強	昭和57年3月31日	3年11ヶ月	南関町議員
六代	近延 正	昭和61年3月27日	10ヶ月	菊水町議員
七代	田原 久	昭和62年2月25日	4ヶ月	三加和町議員
八代	磯野 肇	昭和62年7月21日	2年5ヶ月	長洲町議員
九代	村上 康弘	平成元年12月26日	1年7ヶ月	横島町議員
十代	戸上 雄之	平成3年7月26日	1年11ヶ月	南関町議員
十一代	村上 康弘	平成5年7月23日	8ヶ月	横島町議員

有明広域行政事務組合

初代	辻 翼	平成6年4月1日	4ヶ月	菊水町議員
二代	磯野 肇	平成6年8月1日	3年	長洲町議員
三代	下田 文生	平成9年8月8日	1年9ヶ月	玉東町議員
四代	江田 就知	平成11年5月29日	2年4ヶ月	岱明町議員
五代	仲田 広則	平成13年10月8日	4ヶ月	三加和町議員
六代	福山 精一	平成14年3月4日	1年2ヶ月	三加和町議員
七代	森川 和博	平成15年5月30日	9ヶ月	横島町議員
八代	柴尾 俊二	平成16年3月4日	1年11ヶ月	南関町議員
九代	荒木 一	平成18年2月17日	1年3ヶ月	玉東町議員
十代	林野 彰	平成19年5月30日	2年3ヶ月	玉名市議員
十一代	清水 健世	平成21年9月25日	1年8ヶ月	荒尾市議員
十二代	福嶋 譲治	平成23年6月3日	2年1ヶ月	玉名市議員
十三代	菰田 正也	平成25年7月31日	1年10ヶ月	荒尾市議員
十四代	小屋野 幸隆	平成27年6月5日	2年1ヶ月	玉名市議員
十五代	菰田 正也	平成29年7月27日	1年10ヶ月	荒尾市議員
十六代	江田 計司	令和元年5月30日	2年2ヶ月	玉名市議員
十七代	菰田 正也	令和3年7月29日	1年9ヶ月	荒尾市議員
十八代	前田 裕二	令和5年6月2日	2ヶ月	荒尾市議員
十九代	松井 一也	令和5年7月31日	現在	長洲町議員

歴代消防長
有明消防組合

歴代	氏名	就任年月日	在職期間	備考
初代	宮川 行雄	昭和47年4月1日	2年1ヶ月	
二代	福島 正義	昭和49年5月1日	2年	
三代	高見 松義	昭和51年5月1日	3年	
四代	荒木 光次	昭和54年5月1日	2年	
五代	村上 英壮	昭和56年5月11日	2年1ヶ月	
六代	積 貞夫	昭和58年6月1日	1年	
七代	大草 武敏	昭和59年6月1日	10ヶ月	
八代	西川 義方	昭和60年4月1日	5年8ヶ月	
九代	古財 忠男	平成2年12月28日	3ヶ月	
十代	伊藤 光政	平成3年4月1日	1年	
十一代	岡本 貞夫	平成4年4月1日	1年	
十二代	古沢 安治	平成5年4月1日	1年	

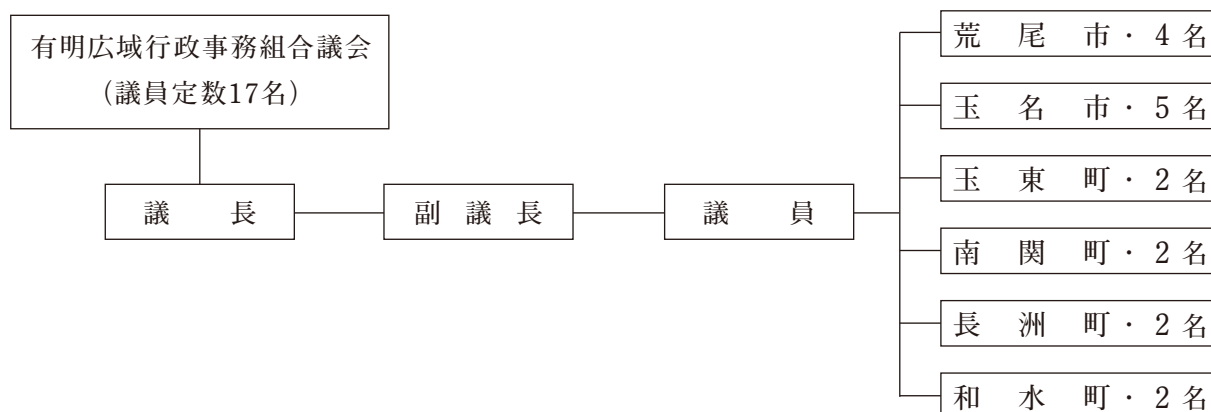
有明広域行政事務組合

初代	原口 富雄	平成6年4月1日	1年	
二代	緒方 昭英	平成7年4月1日	1年7ヶ月	
三代	松浦 勝帰	平成8年11月1日	5ヶ月	
四代	上村 公弘	平成9年4月1日	1年	
五代	三井 信博	平成10年4月1日	2年	
六代	朝岡 宣昭	平成12年4月1日	2年	
七代	西川 剛	平成14年4月1日	6年	
八代	堀川 一信	平成20年4月1日	1年	
九代	深草 良亮	平成21年4月1日	3年	
十代	中村 精也	平成24年4月1日	1年	
十一代	宮本 裕知	平成25年4月1日	4年	
十二代	吉田 耕之	平成29年4月1日	3年	
十三代	堀 幸夫	令和2年4月1日	1年	
十四代	村上 博恭	令和3年4月1日	2年	
十五代	村上 和浩	令和5年4月1日	現在	

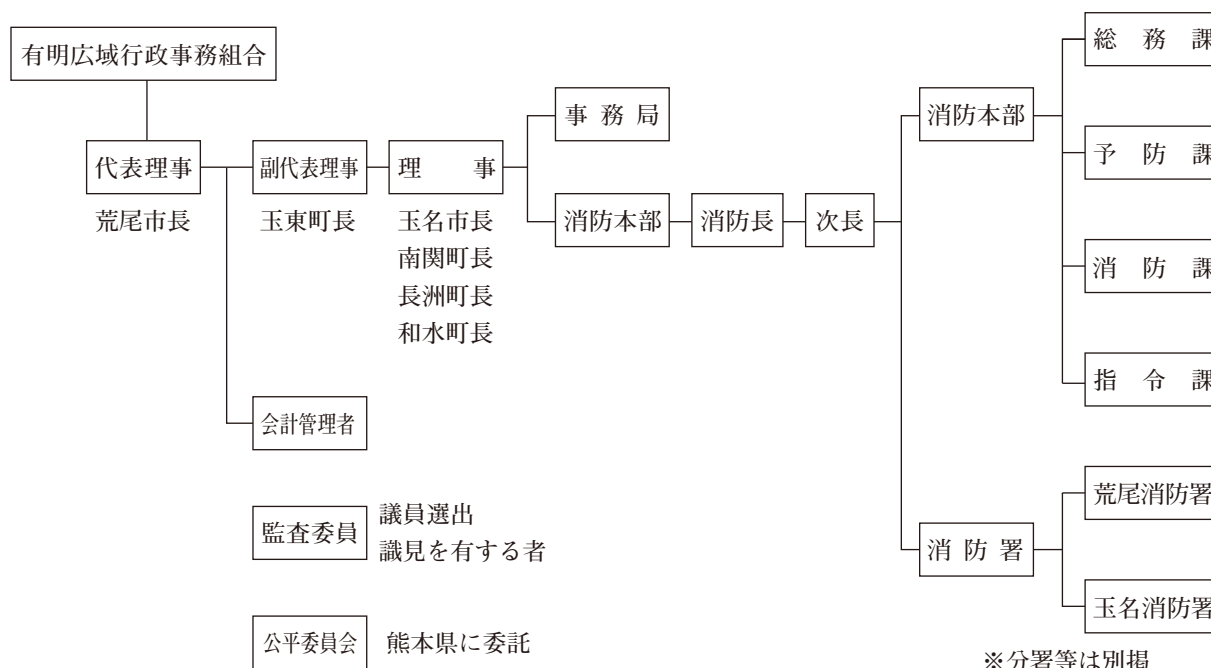
3. 組合構成市町の面積・人口・世帯数

	令和2年度国調			R6. 4. 1 現在住基調	
	面積	人口	世帯数	人口	世帯数
荒尾市	57.37	50,832	20,783	49,394	24,038
玉名市	152.60	64,292	25,278	63,029	28,510
玉東町	24.33	5,045	1,814	5,181	2,117
南関町	68.92	8,979	3,503	8,782	4,062
長洲町	19.44	15,372	6,434	15,334	7,402
和水町	98.78	9,342	3,416	9,059	3,766
計	421.44 km ²	153,862人	61,228世帯	150,779人	69,895世帯

4. 議会組織

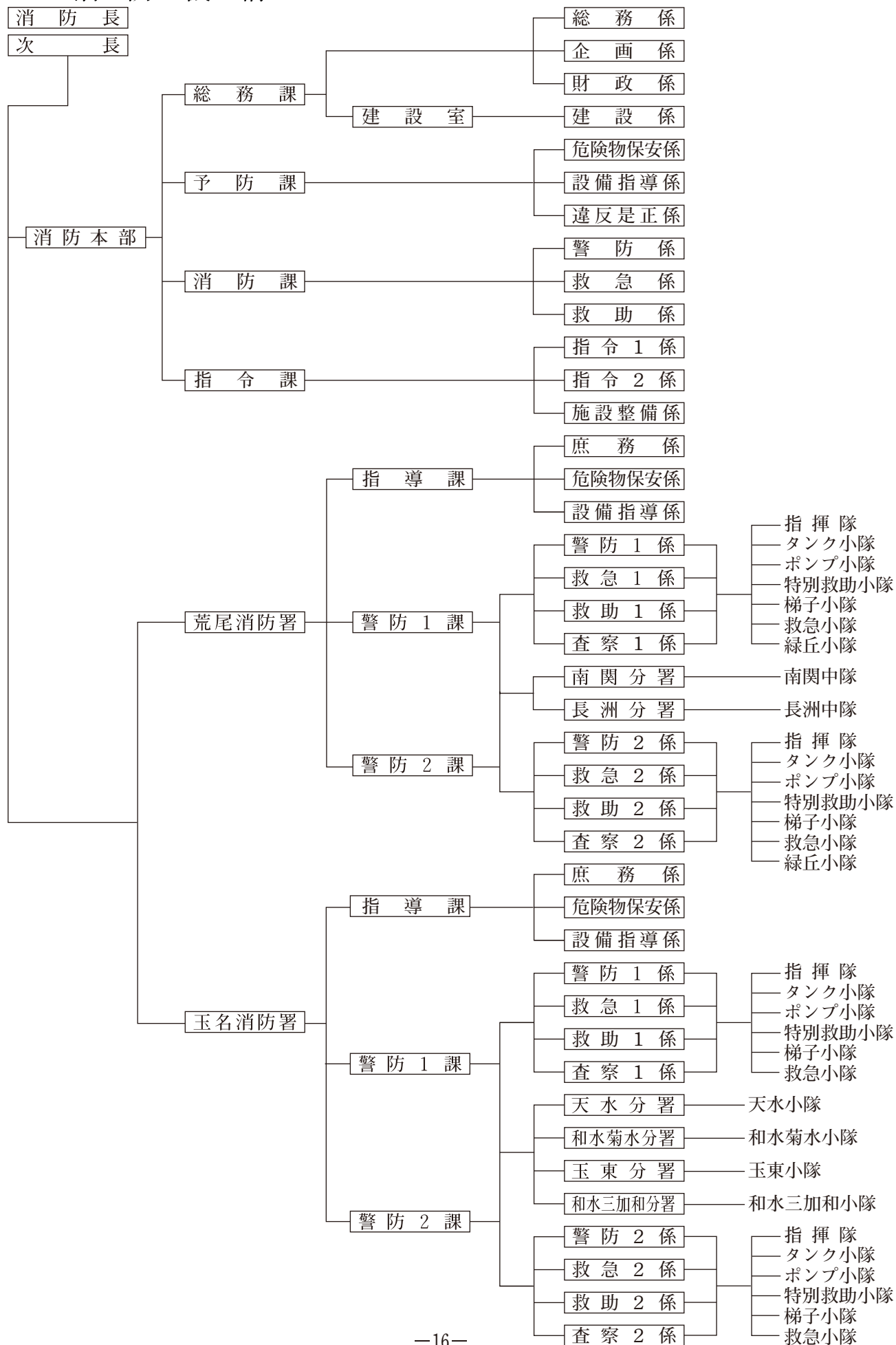


5. 組合組織



※分署等は別掲

6. 消 防 機 構



7. 消防力の現勢

(令和6年4月1日現在)

区 分		基 準	現 有	過・不足△	充 足 率 %
署 所 数		9	9	0	1 0 0 . 0
消 防 職 員	警 防 要 員	2 1 0	1 7 3	△ 3 7	8 2 . 4
	予 防 要 員	3 5	※ 1 1 (2 1)	△ 2 4	3 1 . 4
	通 信 員	1 0	1 2	2	1 2 0 . 0
	庶務の処理等の人員	* 2 0	2 6	6	1 3 0 . 0
	計	2 7 5	2 2 2	△ 5 3	8 0 . 7
ポ ン プ 車	実 動 車	1 0	1 0	0	1 0 0 . 0
	予 備 車	2	2	0	1 0 0 . 0
	計	1 2	1 2	0	1 0 0 . 0
特 殊 車	指 揮 車	2	2	0	1 0 0 . 0
	は し ご 車	2	2	0	1 0 0 . 0
	化 学 車	1	1	0	1 0 0 . 0
	水 槽 車	1	1	0	1 0 0 . 0
	救 助 工 作 車	2	2	0	1 0 0 . 0
	計	8	8	0	1 0 0 . 0
救 急 車	実 動 車	1 0	1 0	0	1 0 0 . 0
	予 備 車	2	2	0	1 0 0 . 0
	計	1 2	1 2	0	1 0 0 . 0

展示

※ 予防要員：（ ）内は警防要員と兼務した総予防要員を示す。

* 他の欄に含まれない人員についてはこの欄で計上。

8. 消防庁舎の現況

(令和6年4月1日現在)

	所在地	構造	面積
消防本部	〒865-0065 玉名市築地309番地 1 TEL0968・71・0119 FAX0968・74・0030	鉄筋コンクリート造 3 階建	建面積 2,127.15㎡ 延面積 3,919.55㎡
ありあけ防災館 (消防本部庁舎内)	TEL0968・74・0119 FAX0968・73・8446		
荒尾消防署	〒864-0004 荒尾市宮内字松ヶ浦1027番地 9 TEL0968・63・1121 FAX0968・63・1120	鉄筋コンクリート造 3 階建	建面積 1,764.37㎡ 延面積 3,128.10㎡
緑丘庁舎	〒864-0015 荒尾市平山字皮籠田2270番地 TEL0968・66・0072 FAX0968・66・0108	補強コンクリートブロック造 平屋建	建面積 176.0025㎡
南関分署	〒861-0803 玉名郡南関町 大字関町8番地1 TEL0968・53・0309 FAX0968・53・0315	鉄筋コンクリート造 2 階建	建面積 442.16㎡ 延面積 567.72㎡
長洲分署	〒869-0105 玉名郡長洲町 大字清源寺415番地1 TEL0968・78・0145 FAX0968・78・0185	鉄筋コンクリート造 2 階建	建面積 541.79㎡ 延面積 511.2 ㎡
玉名消防署 (消防本部庁舎内)	〒865-0065 玉名市築地309番地 1 TEL0968・73・7117 FAX0968・73・7118		
天水分署	〒861-5403 玉名市天水町部田見1815番地 1 TEL0968・82・2495 FAX0968・82・3242	鉄筋コンクリート造 2 階建	建面積 228㎡ 延面積 368㎡
和水菊水分署	〒865-0126 玉名郡和水町前原269番地 1 TEL0968・86・2207 FAX0968・86・2213	鉄筋コンクリート造 平屋建	建面積 200.475㎡
		木造モルタル 平屋建(会議室)	延面積 38.88㎡
玉東分署	〒869-0311 玉名郡玉東町 大字二俣字鍛冶場101番地 TEL0968・85・3519 FAX0968・85・3567	鉄骨造 平屋建	建面積 241.2㎡
和水三加和分署	〒869-0913 玉名郡和水町板楠1740番地 3 TEL0968・34・2600 FAX0968・34・2617	鉄骨ブロック造 平屋建	建面積 242.77㎡

9. 消防職員の配置状況

(令和6年4月1日現在)

区	分	消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事務吏員	計
消 防 本 部	消 防 長	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	次 長	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	総 務 課	0	0	1	2	3	0	1	2	1	10
	予 防 課	0	0	1	1	2	3	0	0	0	7
	消 防 課	0	0	1	2	1	2	0	0	0	6
	指 令 課	0	0	1	3	3	2	5	0	0	14
	派遣・入校等	0	0	0	0	0	1	1	5	0	7
	計	1	1	4	8	9	8	7	7	1	46
荒 尾 消 防 署	荒尾消防署	0	0	1	6	11	7	10	6	0	41
	緑丘庁舎	0	0	0	1	2	3	2	2	0	10
	長洲分署	0	0	0	3	3	3	4	4	0	17
	南関分署	0	0	0	3	2	4	4	4	0	17
	計	0	0	1	13	18	17	20	16	0	85
玉 名 消 防 署	玉名消防署	0	0	1	7	11	10	12	10	0	51
	天水分署	0	0	0	1	2	3	2	2	0	10
	和水菊水分署	0	0	0	1	2	3	2	2	0	10
	和水三加和分署	0	0	0	1	2	3	3	1	0	10
	玉東分署	0	0	0	1	2	3	2	2	0	10
	計	0	0	1	11	19	22	21	17	0	91
合 計		1	1	6	32	46	47	48	40	1	222

10. 消防吏員の年令・勤務年数調

(令和6年4月1日現在)

消 防 吏 員 （ 221 人）	年 齢 別									
	18才 ┆ 20才	21才 ┆ 25才	26才 ┆ 30才	31才 ┆ 35才	36才 ┆ 40才	41才 ┆ 45才	46才 ┆ 50才	51才 ┆ 55才	56才 以上	平均年齢
	8	31	19	38	34	34	26	16	15	37.90
	勤 務 年 数 別									
	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上			
	35	22	46	37	23	30	28			

11. 消防吏員の特殊技能

(令和6年4月1日現在)

種 別 \ 階 級	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
大 型 2 種	0	0	0	1	1	0	0	0	2
大 型 1 種	1	1	4	2 7	2 8	2 1	1 3	0	9 5
中 型 免 許 (限定解除)	0	0	0	1	1 6	2 9	3 7	1 0	9 3
特 殊 免 許	0	0	0	3	3	2	3	0	1 1
衛 生 管 理 者	0	0	1	2	4	3	0	0	1 0
救 急 救 命 士	0	0	3	9	1 3	2 2	1 2	5	6 4
救 急 隊 資 格 者	1	0	3	2 3	3 3	2 7	4 3	9	1 3 9
救急法指導員 (日赤)	0	0	0	3	0	1	0	0	4
幼児安全法指導員 (日赤)	0	0	0	1	0	0	0	0	1
潜 水 士	1	1	1	1 7	1 5	1 3	8	5	6 1
危険物免許 (甲・乙)	0	0	5	2 3	4 5	3 6	2 1	7	1 3 7
消防設備士 (甲・乙)	0	0	3	1 0	2 2	4	2	0	4 1
航空特殊無線技士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
主任無線従事者	0	0	0	3	5	1	0	0	9
第一級陸上特殊無線技士	0	0	0	2	1	0	0	0	3
第二級陸上特殊無線技士	1	1	5	2 4	3 0	3	3	0	6 7
第三級陸上特殊無線技士	0	0	0	2	1 5	4 0	2 6	8	9 1
小 型 船 舶 操 縦 士	0	0	2	6	9	1 3	1	0	3 1
酸素欠乏危険作業主任者(第2級)	0	0	1	6	1 0	1	1	0	1 9
高 圧 ガ ス 作 業 主 任 者	0	0	0	0	0	1	0	0	1
玉 掛 技 能 者	1	1	5	1 8	1 2	2	5	0	4 4
移 動 式 ク レ ー ン	0	0	0	6	1 8	1 8	1 1	0	5 3
ガ ス 溶 接	0	0	1	2	5	0	1	0	9
劇 毒 物 取 扱 者	0	0	0	0	2	1	0	0	3
火 薬 取 扱 主 任 者	0	0	0	1	0	0	0	0	1
電 気 関 係	0	0	0	1	3	2	4	1	1 1
特定化学物質等作業主任者	0	0	0	0	1	1	1	0	3
予防技術検定 (危険物)	0	0	0	4	9	1 0	1 1	0	3 4
予防技術検定 (消防用設備等)	0	0	0	5	9	1 0	8	0	3 2
予防技術検定 (防火査察)	0	0	0	6	1 7	2 6	2 2	0	7 1
予防技術資格者 (消防用設備等専門員)	1	1	0	4	7	5	0	0	1 8
予防技術資格者 (危険物専門員)	1	1	1	3	6	5	0	0	1 7
予防技術資格者 (防火査察専門員)	1	1	0	4	8	9	1	0	2 4

12. 消防職員の教養研修実施状況

(令和5年度)

機 関 名	教 育 機 関		期 間	人 員
救急救命 研 修 所	救急救命東京研修所 (第64期)		4.5～9.29 (177日間)	1名
	令和5年度感染防止対策強化研修		5.10～5.16 (7日間)	1名
	指導救命士研修		7.13～8.25 (45日間)	1名
	救急救命九州研修所 (第42期)		9.1～3.11 (193日間)	1名
熊 本 県 消防学校	初任	初任科 (第68期)	4.6～9.15 (163日間)	6名
	専科	救助科 (第44期)	10.19～11.17 (30日間)	4名
		警防科	11.27～12.8 (12日間)	2名
		火災調査科	12.11～12.22 (12日間)	4名
		救急科 (第32期)	1.9～3.1 (53日間)	7名
		危険物科	3.4～3.8 (5日間)	2名
	幹部	中級幹部科	10.2～10.11 (10日間)	2名
	特別	実火災訓練研修 (HT研修)	1.24～1.26 (3日間)	6名
		模擬火災訓練研修 (AFT研修)	3.5～3.7 (3日間)	6名
		警防隊員研修	3.11～3.15 (5日間)	2名
全国消防長会 九 州 支 部	令和5年度消防長研修会 (鹿児島市)		11.21～11.22 (2日間)	2名
	令和5年度九州地区大規模災害対応実務研修 (福岡市)		11.25～11.26 (2日間)	11名
	令和5年度九州地区予防実務研修 (福岡市)		1.15～1.26 (12日間)	1名
熊 本 県 消防長会	令和5年度熊本県消防長会予防例研究会 (熊本市)		10.20 (1日間)	2名
	令和5年度熊本県消防長会女性消防職員研修会 (熊本市)		11.24 (1日間)	3名
	令和5年度熊本県消防長会総務研修 (熊本市)		2.19 (1日間)	4名
そ の 他	令和5年度災害共済事務担当者研修会 (熊本市)		6.1 (1日間)	2名
	熊本県消防設備協会研修会 (熊本市)		5.30 (1日間)	4名
	令和5年度メンタルヘルスマネジメント実践研修会 (熊本市)		6.21 (1日間)	2名
	健康管理監督者セミナー (熊本市)		7.18 (1日間)	1名
	令和5年度市町村等職員IT研修 (熊本市)		9.7・9.12・10.4～10.5 (4日間)	1名
	令和5年度消防職員安全衛生管理研修会 (福岡市)		9.21～9.22 (2日間)	4名
	人事評価実務研修 (熊本市)		10.23～10.24 (2日間)	5名
	ハラスメント未然防止力向上研修		11.15 (1日間)	3名

13. 消防予算及び構成市町別負担金内訳

(1) 令和6年度消防予算

ア 歳入

(単位：千円)

年度 区分	令和6年度	令和5年度	増減
分担金及び負担金	2,218,113	2,149,351	68,762
使用料及び手数料	2,780	2,786	△6
国庫支出金	1	1	0
県支出金	4,794	5,250	△456
財産収入	2	2	0
寄附金	1	1	0
繰入金	54,390	70,346	△15,956
繰越金	1	1	0
諸収入	8,209	7,030	1,179
組合債	609,300	375,700	233,600
歳入合計	2,897,591	2,610,468	287,123

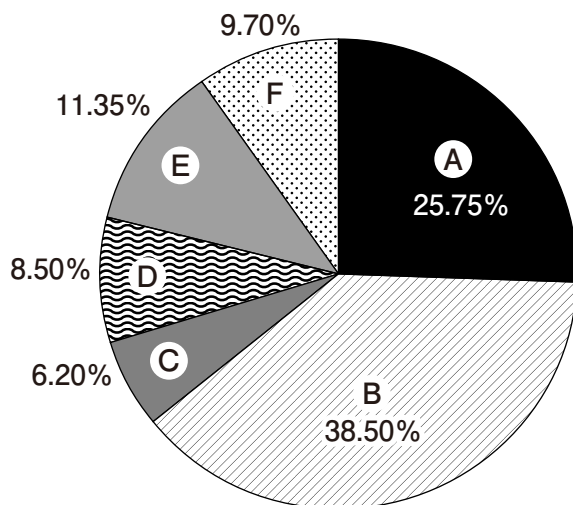
イ 歳出

(単位：千円)

年度 区分	令和6年度	令和5年度	増減
消防費	2,682,256	2,336,110	346,146
公債費	212,335	271,358	△59,023
予備費	3,000	3,000	0
歳出合計	2,897,591	2,610,468	287,123

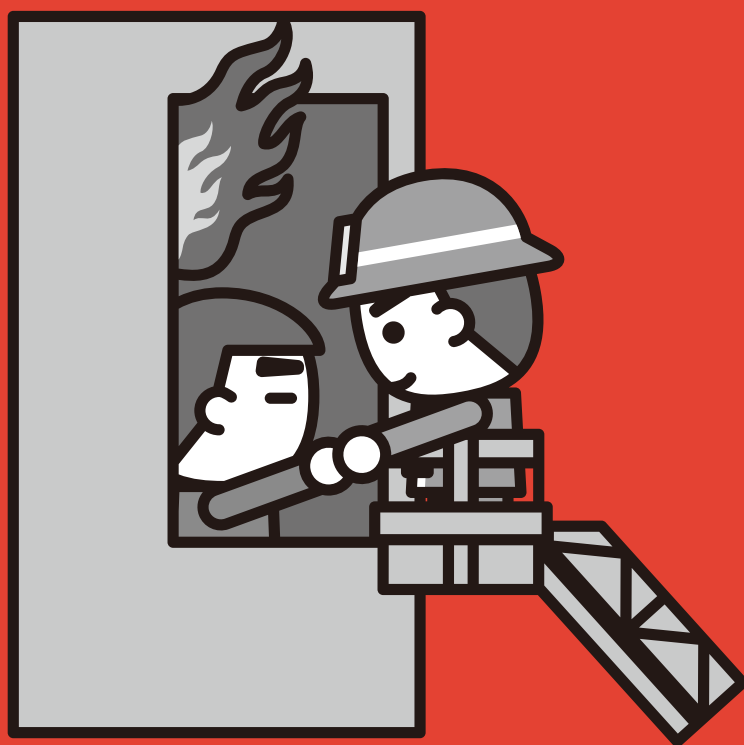
(2) 令和5年度構成市町別負担金内訳

(単位：千円)



A 荒尾市	571,129 (25.75%)
B 玉名市	853,298 (38.50%)
C 玉東町	137,691 (6.20%)
D 南関町	189,313 (8.50%)
E 長洲町	251,513 (11.35%)
F 和水町	215,169 (9.70%)
計	2,218,113

警防・救急・救助



1. 施 設 機 械

(1) 消防車両等の配置状況

(令和6年4月1日現在)

所 属 別	水槽付 消 防 ポンプ車	消 防 ポンプ車	指揮車	梯子車	化学車	水槽車	救 助 工作車	支援車 又 は 輸送車	広報車 又 は 連絡車	高規格 救急車	計
消 防 本 部	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7
荒尾消防署	2 (1台は予備車)	1	1	1	0	0	1	1	3	2 (1台は予備車)	12
緑丘庁舎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
南関分署	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
長洲分署	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
玉名消防署	1 (予備車)	1	1	1	1	1	1	2	2	3 (1台は予備車)	14
天水分署	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
和水菊水分署	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
玉東分署	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
和水三加和分署	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
計	9	3	2	2	1	1	2	3	17	12	52

(2) 主要器具の配置状況

ア 消火・救助活動用備品

(令和6年4月1日現在)

署 名 品 名		消 防 本 部	荒 尾 消 防 署	緑 丘 庁 舎	南 関 分 署	長 洲 分 署	玉 名 消 防 署	天 水 分 署	玉 東 分 署	和 水 菊 水 分 署	和 水 三 加 和 分 署	計
一般用救助器具	かぎ付きはしご	0	4	1	1	1	4	1	0	1	0	13
	二連梯子、三連梯子	0	6	1	1	1	5	1	1	1	1	18
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤー梯子	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	空気式救助マット	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	救命策発射銃	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	サバイバースリング	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	平担架	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	バスケット担架	0	3	1	1	1	2	1	1	1	1	12
	救助用縛帯	0	9	2	1	1	8	1	1	1	1	25
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	油圧スプレッダー	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	可搬ウインチ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	マンホール救助器具	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	マット型空気ジャッキ	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
切断用器具	油圧切断機	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	アークエア-溶断器	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	エンジンカッター	0	2	0	1	0	2	0	1	0	0	6
	ガス溶断器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チェーンソー	0	2	1	1	1	2	1	1	1	1	11
	鉄線カッター	0	6	2	2	2	8	2	2	2	2	28
	空気鋸	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
破壊用器具	万能斧	0	6	2	1	1	13	2	2	1	1	29
	携帯用コンクリート破壊器具	0	2	0	0	0	3	0	0	0	0	5
	削岩機	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	ハンマドリル	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3
検知測定用器具	生物・化学検知器	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	可燃ガス測定器	0	0	1	1	1	4	1	1	1	1	11
	有毒ガス測定器	0	3	0	0	0	5	0	0	0	0	8
	放射線測定器	0	4	0	0	0	21	0	0	0	0	25

署 名 品 名			消 防 本 部	荒 尾 消 防 署	緑 丘 庁 舎	南 関 分 署	長 洲 分 署	玉 名 消 防 署	天 水 分 署	玉 東 分 署	和 水 菊 水 分 署	和 水 三 加 和 分 署	計
そ の 他	ホース	65mm	6	90	32	35	35	100	34	35	35	35	437
		50mm	18	40	19	19	20	40	26	20	21	20	243
		40mm	14	32	15	15	15	20	16	15	17	16	175
	A火災用泡消火薬剤		0	240	40	100	0	670	40	120	40	90	1,340
	B火災用泡消火薬剤		0	260	40	0	80	420	40	40	0	0	880
	オイルフェンス		0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	6
	油中和剤		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジェットシューター		0	6	5	5	3	12	4	4	4	4	47
	管 槍	65mm	0	2	1	1	1	2	0	0	1	0	8
		50mm	0	1	2	1	2	1	0	2	1	1	11
		40mm	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		無反動	65mm	0	2	2	1	1	3	1	1	0	20
			50mm	0	2	0	0	2	1	1	1	0	
		クアドラノズル	0	2	2	1	2	3	2	1	2	2	17
		フогネイルノズル	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		ターボジェットノズル	0	3	2	2	2	4	2	1	2	2	20
		フогガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		キャフスノズル	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3
	エアーホーム管槍		0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	5
	中発泡器具		0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	3
	ホースブリッジ		0	8	2	2	2	12	6	2	6	2	42
	ホースクランプ		0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	6
	分水器	65→65×2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
		65→50×2	0	1	1	0	3	0	0	1	0	0	6
		65→65/50×2	0	4	1	2	0	7	3	0	3	0	20
		65→40×2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		65→50/40×2	0	0	0	0	0	4	0	1	0	2	7
	媒介金具	65mm→50mm	0	3	1	1	1	4	2	1	3	2	18
		65mm→40mm	0	2	0	1	1	1	2	1	2	0	10
		50mm→40mm	0	4	2	2	8	8	2	4	4	2	36
		40mm→50mm	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	7
		50mm→65mm	0	0	0	1	1	0	0	1	0	1	4
	携帯水筒		0	0	0	0	0	0	0	3	0	5	8
	夜光チョッキ		0	13	4	8	7	8	8	6	7	3	64
	幼年消防隊用防火衣		0	7	0	0	0	5	0	0	0	0	12
	屋内消火栓ボックス		0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	プロパック		0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
	防刃ベスト		0	3	3	3	3	6	3	3	3	3	30

(令和6年4月1日現在)

署 名 品 名		消 防 本 部	荒 尾 消 防 署	緑 丘 庁 舎	南 関 分 署	長 洲 分 署	玉 名 消 防 署	天 水 分 署	玉 東 分 署	和 水 菊 水 分 署	和 水 三 加 和 分 署	計
呼吸保護用具	空気呼吸器	0	13	3	3	3	15	3	3	3	3	49
	酸素呼吸器	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	簡易呼吸器	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	送排風機	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3
隊員用保護用具	耐電手袋	0	6	2	3	2	7	1	1	1	1	24
	耐電衣	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	耐電ズボン	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	耐電長靴	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	防毒マスク	0	4	0	0	0	20	0	0	0	0	24
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10
	陽圧式化学防護服	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
	耐熱服	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
	放射線防護服	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器具 防除用	除染シャワー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	防除剤散布器	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
水難救助器具	潜水器具	0	5	0	0	0	7	0	0	0	0	12
	救命胴衣	0	28	7	6	7	58	7	7	7	7	134
	水中投光器	0	5	0	0	0	7	0	0	0	0	12
	救命浮環	0	2	1	0	4	9	1	1	1	1	20
	浮標	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	救命ボート	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	4
	船外機	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	4
高度救命用具	画像探索機Ⅱ型	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	地中音響探知機	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	熱画像直視装置	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10
	夜間用暗視装置	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他の救助用具	投光器(超強力ライト)	0	5	1	1	1	8	1	1	1	1	20
	携帯投光器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	携帯拡声器	0	6	2	2	3	11	2	2	2	2	32
	携帯無線機(署活用含む)	0	20	4	8	6	25	6	6	6	5	86
	応急処置セット	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	4
	緩降機	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ロープ登降機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発電機	0	4	2	2	1	9	1	2	1	2	24
	大型ブロアー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

イ 救急用備品

(令和6年4月1日現在)

署 名 品 名		消 防 本 部	荒 尾 消 防 署	緑 丘 庁 舎	南 関 分 署	長 洲 分 署	玉 名 消 防 署	天 水 分 署	玉 東 分 署	和 水 菊 水 分 署	和 水 三 加 和 分 署	計
9項目器材セット (ショックパンプ・心電図伝送装置・在宅医療の維持を除く)		0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10
自動体外式除細動器(AED)		0	2	1	2	2	4	1	1	1	1	15
オゾン消毒器		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
電動吸引器		0	2	1	1	1	2	1	1	1	1	11
担架	布	0	2	1	2	2	6	2	3	1	1	20
	折りたたみ	0	10	1	1	1	7	0	0	0	0	20
	レスキューシート	0	5	2	2	3	8	2	2	1	1	26
	スクープ	0	3	1	2	2	6	1	1	1	1	18
	バックボード一式	0	6	2	3	3	12	2	2	2	2	34
B L S 訓 練 用 人 形	レサシアン(全身)	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	5
	レサシアン(上半身)	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	レサシ・ジュニア	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	レサシ・ベビー	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	ヤガミ・成人	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
	ヤガミ・幼児	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ヤガミ・乳児	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	リトルアン	0	10	4	8	8	23	8	4	4	4	73
	リトルジュニア	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	10
	リトルベビー	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
レサシアンQ CPR		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
セーブマン高研訓練人形		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
チョーキングチャーリー		0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
気道管理トレーナー		0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
静脈路確保訓練用モデル		0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3
訓練用AEDトレーナー		0	4	3	4	4	9	3	3	3	3	36
殺菌ロッカー		0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9

(3) 消防車両等の状況

(令和6年4月1日現在)

区分 署別	車 両 種 別	車 種	型 式	年 式	規 格	備 考
消 防 本 部	指 揮 車	トヨタ	DAA-NHW20	H20	乗用	ハイブリッド
	総 務 車	トヨタ	DAA-NKE165G	H29	ステーションワゴン	ハイブリッド
	警 防 車	マツダ	TC-SK82M	H18	ワゴン	4WD
	予 防 車	日 産	DBA-Y12	H23	〃	
	本 部 連 絡 車	マツダ	5BD-DG17V	R3	軽ライトバン	
	指 導 車	トヨタ	DBA-AZR65G	H17	ステーションワゴン(8人)	4WD
	指 令 車	スズキ	GF-JB33W	H10		4WD
荒 尾 消 防 署	CAFS付水槽付ポンプ車	日 野	BDG-GX7JGWA改	H21	モリタ A 2	水1.5t 積載
	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2RG-XZU640M	R4	吉谷機械 A 2	水0.8t 積載
	消 防 予 備 車	三 菱	KK-FK61HE	H13	モリタ A 2	水1.5t 積載
	指 揮 車	日 産	LDF-VW6E26	R1	支援車Ⅳ型	4WD
	梯 子 車	日 野	2DG-FH1AGA改	R2	モリタ25m梯子	スノーケル
	救 助 工 作 車	日 野	BDG-GX7JGWA	H23	Ⅲ型	4WD
	輸 送 車	日 野	TKG-XZU695M	H27		2 t 積載
	連 絡 車	三 菱	GD-H42V	H13	軽ライトバン	
	連 絡 車	マツダ	5BD-DG17V	R3	軽ライトバン	
	広 報 車	日 産	5BF-VM20	R6	ライトバン	
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R3	高規格	4WD
	救急車(予備車)	トヨタ	CBF-TRH221S	H21	高規格	2WD
緑 丘 庁 舎	水槽付ポンプ車	日 野	SDG-FD7JEAA改	H29	日本ドライケミカル	水1.5t 積載
	救 急 車	トヨタ	CBF-TRH226S	H27	高規格	4WD
南 関 分 署	水槽付ポンプ車	日 野	2KG-FD2ABA	H30	いちはら工業	水1.5t 積載
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R1	高規格	4WD
	連 絡 車	スズキ	HBD-DA64V	H26	軽ライトバン	
長 洲 分 署	水槽付ポンプ車	日 野	SDG-GX7JGAA改	H29	小川ポンプ	水1.5t 積載
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R1	高規格	4WD
	連 絡 車	マツダ	GBD-DG64V	H22	軽ライトバン	

区分 署別	車 両 種 別	車 種	型 式	年 式	規 格	備 考
玉 名 消 防 署	普 通 ポ ン プ 車	日 野	2RG-XZU640M	R4	吉谷機械 A 2	水0.8t 積載
	消 防 予 備 車	日 産	PB-MK36A改	H18	ナカムラ A 2	水1.5t 積載
	指 揮 車	トヨタ	CBF-TRH216K	H26	ワゴン	4 W D
	梯 子 車	日 野	LDG-PR1APBF	H25	モリタ35m梯子	
	化 学 車	日 野	SDG-GX7JGAA改	H28	モリタ A 2	水1.3t薬液0.5t積載
	水 槽 車	日 産	KL-CW55E	H16	小型ポンプトローハツB2	水10 t 積載
	救 助 工 作 車	日 野	2KG-GX2ABA	R2	Ⅲ型	4 W D
	支 援 車	三 菱	PDG-BG64DG	H21	2 5 人乗	
	資 機 材 搬 送 車	三 菱	PA-FE83DGY	H19	クレーン装備	3 t 積載
	連 絡 車	スズキ	HBD-DA64V	H26	軽ライトバン	
	広 報 車	日 産	5BF-VM20	R3	ライトバン	
	救 急 車	日 産	3BF-CS8E26改	R5	高規格	4 W D
	救 急 車	トヨタ	CBF-TRH226S	H26	高規格	4 W D
	救急車(予備車)	トヨタ	CBF-TRH221S	H22	高規格	2 W D
天 水 分 署	水槽付ポンプ車	日 野	2DG-FD2ABA	R2	モリタ A 2	水1.5t 積載
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R4	高規格	4 W D
	連 絡 車	スズキ	EBD-DA64V	H22	軽ライトバン	
和 水 菊 水 分 署	水槽付ポンプ車	日 野	2DG-FD2ABA	R2	モリタ A 2	水1.5t 積載
	救 急 車	日 産	3BF-CS8E26改	R5	高規格	4 W D
	連 絡 車	スズキ	HBD-DA64V	H26	軽ライトバン	
玉 東 分 署	CAFS付ポンプ車	日 野	BDG-XZU334M	H21	モリタ A 2	消火泡圧縮空気 混合装置付水0.6t 積載
	救 急 車	日 産	CBF-CS8E26改	R4	高規格	4 W D
	連 絡 車	スズキ	EBD-DA64V	H21	軽ライトバン	
和 水 三 加 和 分 署	水槽付ポンプ車	日 野	BDG-GD7JGWA改	H21	モリタ A 2	水1.5t 積載
	救 急 車	日 産	3BF-CS8E26改	R6	高規格	4 W D

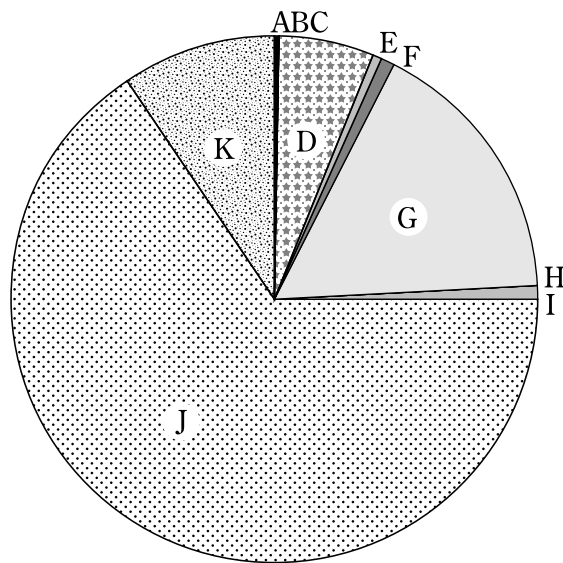
(4) 消防水利現況

(令和6年4月1日現在)

種別 市町別	消火栓	防火水槽				プール	池 水	河 川	計
		100 m ³ 以上	40 ～ 100 m ³ 未満	40 m ³ 未満	計				
荒尾市	751	0	78	118	196	17	23	44	1,031
玉名市	931	5	377	28	410	27	6	1	1,375
玉東町	158	0	55	15	70	3	4	5	240
南関町	9	0	0	240	240	6	30	40	325
長洲町	358	0	9	68	77	5	8	4	452
和水町	38	0	225	0	225	4	7	10	284
計	2,245	5	744	469	1,218	62	78	104	3,707

2. 救 急 ・ 救 助

(1) 救急出場状況



A	火 災	32	(0.362%)
B	自然災害	0	(0.00%)
C	水 難	6	(0.068%)
D	交 通	509	(5.763%)
E	労働災害	63	(0.713%)
F	運動競技	64	(0.725%)
G	一般負傷	1,462	(16.554%)
H	加 害	18	(0.204%)
I	自損行為	60	(0.679%)
J	急 病	5,795	(65.614%)
K	そ の 他	823	(9.318%)
計		8,832件	

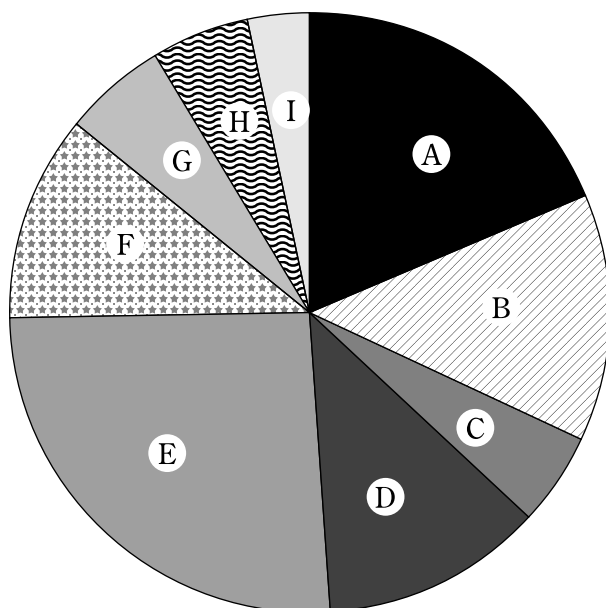
(令和5年中)

事故種別	区 分	出 場 件 数	傷病者 搬 送 件 数	医 師 搬 送 件 数	資機材 等搬送 件 数	不搬送 件 数	搬 送 人 員						
							男	女	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他
火 災		32	10	0	0	23	7	3	0	3	4	3	0
自 然 災 害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難		6	1	0	0	5	1	0	0	0	1	0	0
交 通		509	391	0	0	141	217	174	3	37	141	210	0
労 働 災 害		63	58	0	0	5	45	13	1	10	30	17	0
運 動 競 技		64	54	0	0	10	38	16	0	2	18	34	0
一 般 負 傷		1,462	1,247	0	0	217	500	747	17	155	625	450	0
加 害		18	10	0	0	8	5	5	0	0	2	8	0
自 損 行 為		60	31	0	0	29	17	14	7	10	8	6	0
急 病		5,795	4,741	0	0	1,055	2,474	2,267	139	601	2,258	1,741	2
そ の 他		823	783	0	0	40	389	394	2	223	471	87	0
計		8,832	7,326	0	0	1,533	3,693	3,633	169	1,041	3,558	2,556	2
令 和 4 年		8,244	6,969	0	0	1,275	3,455	3,545	186	1,077	3,226	2,512	0
対 前 年 比		588	357	0	0	258	238	88	△17	△36	332	44	2

(2) 署所別救急出場状況

(令和5年中)

種別 署別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	出 場 件 数	搬 送 人 員
荒尾消防署	4	0	0	86	7	9	248	4	18	1,023	267	1,666	1,454
緑丘庁舎	2	0	1	78	5	4	195	1	6	764	110	1,166	913
南関分署	2	0	0	35	5	3	88	1	3	289	15	441	355
長洲分署	7	0	1	40	9	3	204	1	6	735	53	1,059	856
玉名消防署	10	0	2	137	12	29	375	7	14	1,455	247	2,288	1,901
天水分署	1	0	1	50	6	8	148	3	7	686	59	969	798
和水菊水分署	4	0	0	38	10	3	70	0	3	293	64	485	419
玉東分署	1	0	0	23	5	1	88	1	3	355	3	480	400
和水三加和分署	1	0	1	22	4	4	46	0	0	195	5	278	230
計	32	0	6	509	63	64	1,462	18	60	5,795	823	8,832	7,326

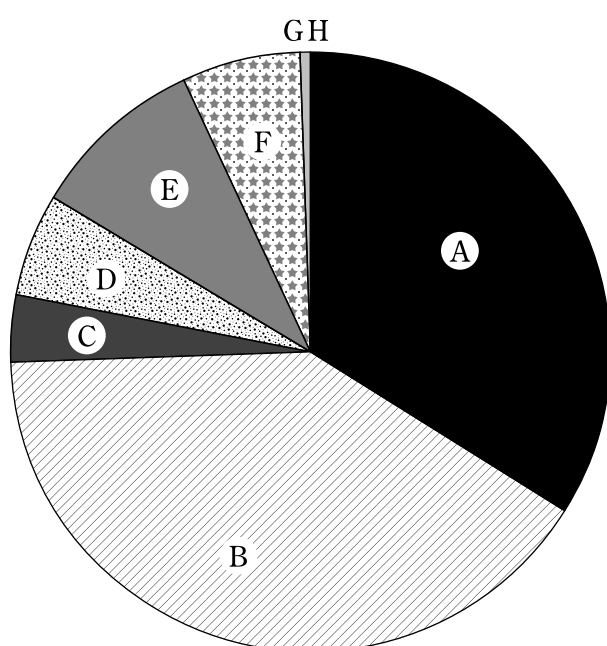


A	荒尾消防署	1,666	(18.9%)
B	緑丘庁舎	1,166	(13.2%)
C	南関分署	441	(5.0%)
D	長洲分署	1,059	(12.0%)
E	玉名消防署	2,288	(25.9%)
F	天水分署	969	(11.0%)
G	和水菊水分署	485	(5.5%)
H	玉東分署	480	(5.4%)
I	和水三加和分署	278	(3.1%)
計		8,832件	

(3) 市町別救急出場状況

(令和5年中)

区分 市町別	救 急 事 故 出 場 種 別											出 場 件 数	搬 送 人 員
	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		
荒 尾 市	8	0	0	177	12	12	479	5	27	1,884	394	2,998	2,474
玉 名 市	17	0	2	203	23	37	572	10	20	2,379	321	3,584	2,979
玉 東 町	0	0	0	17	2	1	60	1	4	238	1	324	275
南 関 町	2	0	1	43	6	3	106	1	3	317	16	498	412
長 洲 町	1	0	2	22	9	4	151	1	4	577	46	817	679
和 水 町	4	0	1	33	11	7	94	0	2	389	45	586	482
管轄区域外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高速道路	0	0	0	14	0	0	0	0	0	11	0	25	25
計	32	0	6	509	63	64	1,462	18	60	5,795	823	8,832	7,326



A	荒 尾 市	2,998	(33.95%)
B	玉 名 市	3,584	(40.58%)
C	玉 東 町	324	(3.67%)
D	南 関 町	498	(5.64%)
E	長 洲 町	817	(9.25%)
F	和 水 町	586	(6.63%)
G	管轄区域外	0	(0.00%)
H	高速道路	25	(0.28%)
計		8,832件	

(4) 医療機関別搬送人員

(令和5年中)

搬送先 事故別	救急告示医療機関		その他の医療機関		計
	管内	管外	管内	管外	
交通	274	84	29	4	391
一般負傷	980	210	53	4	1,247
急病	3,884	705	119	33	4,741
その他	610	311	4	22	947
計	5,748	1,310	205	63	7,326

(5) 市町別医療機関数

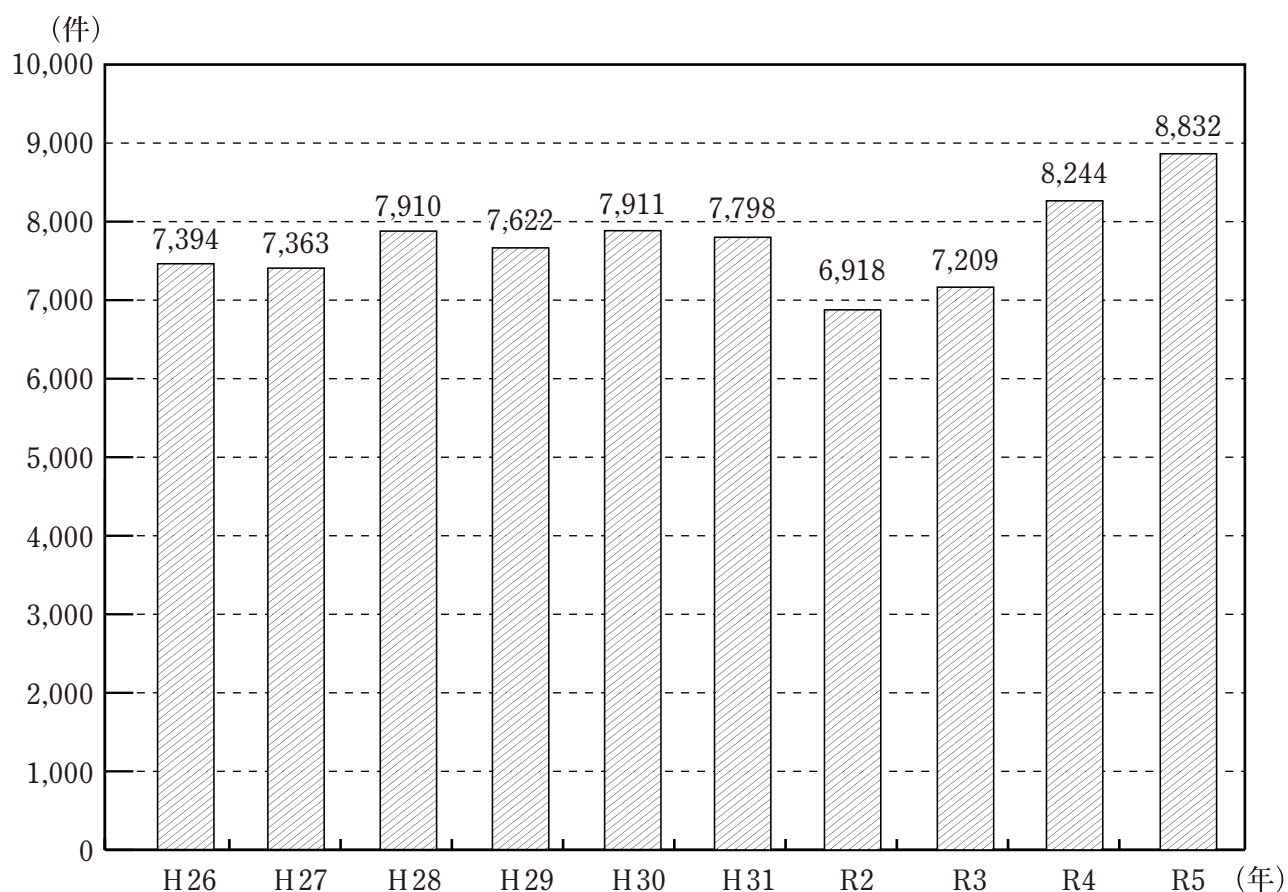
(令和6年4月1日現在)

区分 市町別	病院			診療所			合計			
	国公立	公的	私立	国公立	公的	私立	国公立	公的	私立	計
荒尾市	1	0	6	0	0	38	1	0	44	45
玉名市	1	0	3	0	0	44	1	0	47	48
玉東町	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
南関町	0	0	0	0	0	3	0	0	3	3
長洲町	0	0	1	0	0	5	0	0	6	6
和水町	1	0	0	0	0	2	1	0	2	3
計	3	0	10	0	0	93	3	0	103	106

歯科診療所及び事業所内診療所、老健施設内診療所を除く

(6) 年別救急出場状況（過去10年間）

年別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	出 場 件 数
H26	38	1	5	710	55	45	1,132	27	84	4,421	876	7,394
H27	49	0	7	644	72	58	1,111	24	83	4,452	863	7,363
H28	39	2	2	698	62	58	1,266	19	72	4,823	869	7,910
H29	40	0	7	619	72	43	1,196	26	71	4,728	820	7,622
H30	46	2	3	613	87	58	1,152	11	69	5,035	835	7,911
H31	42	0	1	590	88	56	1,232	15	60	4,900	814	7,798
R 2	32	3	6	457	68	24	1,092	12	72	4,351	801	6,918
R 3	30	0	2	440	67	39	1,214	7	54	4,601	755	7,209
R 4	32	0	7	469	91	38	1,416	15	70	5,330	776	8,244
R 5	32	0	6	509	63	64	1,462	18	60	5,795	823	8,832



(7) 高速道路救急業務実施状況

ア 担当区間

九州縦貫高速自動車道

南関分署救急隊

上り線 南関 I C ～ みやま柳川 I C

下り線 南関 I C ～ 菊水 I C

菊水分署救急隊

上り線 菊水 I C ～ 南関 I C

下り線 菊水 I C ～ 植木 I C

イ 救急出場状況

(令和5年中)

区 分 事故種別	出 場 件 数	傷 病 者 搬 送 件 数	不 搬 送 件 数	搬 送 人 員										
				男					女					計
				死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	
火 災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自 然 災 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交 通 事 故	16	14	2	0	0	8	4	0	0	0	3	4	0	19
労 働 災 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運 動 競 技	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一 般 負 傷	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
加 害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自 損 行 為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急 病	13	9	4	0	0	0	3	0	0	0	1	5	0	9
転 院	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
医 師 搬 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資 機 材 輸 送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	33	26	7	0	0	10	7	0	0	0	5	9	0	31
南 関	15	11	4	0	0	3	3	0	0	0	2	6	0	14
和 水 菊 水	18	15	3	0	0	7	4	0	0	0	3	3	0	17
計	33	26	7	0	0	10	7	0	0	0	5	9	0	31

3. 応急手当講習修了者数 (過去5年間)

種別 年別	普通救命講習	上級救命講習	応急手当普及員講習
H31年	966	27	61
R 2年	100	0	25
R 3年	198	0	0
R 4年	303	11	0
R 5年	493	5	25

4. 有明地域メディカルコントロール協議会（平成15年1月23日設立）

(1) 協議会構成

ア 行政機関	熊本県有明保健所	1名
イ 管内医療機関（医師）	荒尾市医師会	1名
	玉名郡市医師会	1名
	荒尾市立有明医療センター	1名
	くまもと県北病院	2名
	和水町立病院	1名
ウ 消防機関	消防長・次長	
	消防課長・指令課長	
	荒尾消防署長・玉名消防署長	
	指導救命士1名・救急救命士2名・事務局2名	

計18名

(2) 協議会活動状況（令和5年度）

- ア 協議会開催 2回
 - ・有明消防本部管轄内住民の救命率を向上するため、消防及び医療の関係機関が救急隊員の教育等、諸課題を協議し救急業務の円滑な推進を図るために開催。
- イ 事後検証会開催 3回
 - ・事後検証会とは、救急隊員が救急現場で行う現場処置、病院選定等で発生する様々な問題点について医師（委員）に助言を求め救急隊員のレベルアップを図るために開催。

5. 消防機関の活動状況

（令和5年中）

種 別	火 災	風水害等の災害	演習・訓練等	救 急	救助活動	広報・指導
活動回数	183	0	457	8,803	121	837
活動延人員	1,052	0	2,490	20,226	1,035	2,957

警防調査	火災調査	特別警戒	捜 索	予防査察	誤 報 等	その他	合 計
453	71	11	6	590	11	622	12,165
1,670	284	38	32	2,069	55	1,819	33,727

6. 救助活動状況

(1) 事故種別出動件数

(令和5年中)

種 別	火 災	交 通	水 難	自然災害	機 械	建 物	ガ ス	爆 発	その他	計
出動件数	42	38	6	0	4	10	1	0	20	121
活動件数	42	15	5	0	2	9	1	0	11	85
救助人員	3	17	5	0	2	9	1	0	11	48

通 信



1. 通 信 施 設

(1) 消防救急無線電話設置状況

(令和6年4月1日現在)

設 置 場 所	固定・基地局	陸上移動局 () 携帯	署活動用 無線機
消 防 本 部		2(1)	6
災害情報指令センター	固定局1	2	0
荒尾消防署		12(6)	14
緑 丘 庁 舎		2(1)	3
南 関 分 署		2(2)	6
長 洲 分 署		2(2)	6
玉 名 消 防 署		14(7)	17
天 水 分 署		2(2)	4
和水菊水分署		2(2)	4
玉 東 分 署		2(2)	4
和水三加和分署		2(2)	3
三ノ岳中継所	固定局1基地局1		
三池山中継所	固定局1基地局1		
計	固定局3基地局2	44(27)	67

(2) 有線電話架設状況

(令和6年4月1日現在)

架設場所	火災専用 電 話	指 令 専用電話	転送回線	携帯電話 回 線	高速直通 電 話	災害弱者緊急 通報専用回線	一般加入 電 話	防災無線電話 (衛星通信)	計
消防本部	0	0	0	1	0	0	12	0	13
災害情報 指令センター	0	10	2	1	1	0	2	0	16
荒尾消防署	0	0	0	2	0	0	2	0	4
緑丘庁舎	0	0	0	1	0	0	1	0	2
南関分署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
長洲分署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
玉名消防署	0	0	0	3	0	0	2	0	5
天水分署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
和水菊水分署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
玉東分署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
和水三加和分署	0	0	0	1	0	0	1	0	2
計	0	10	2	14	1	0	25	0	52

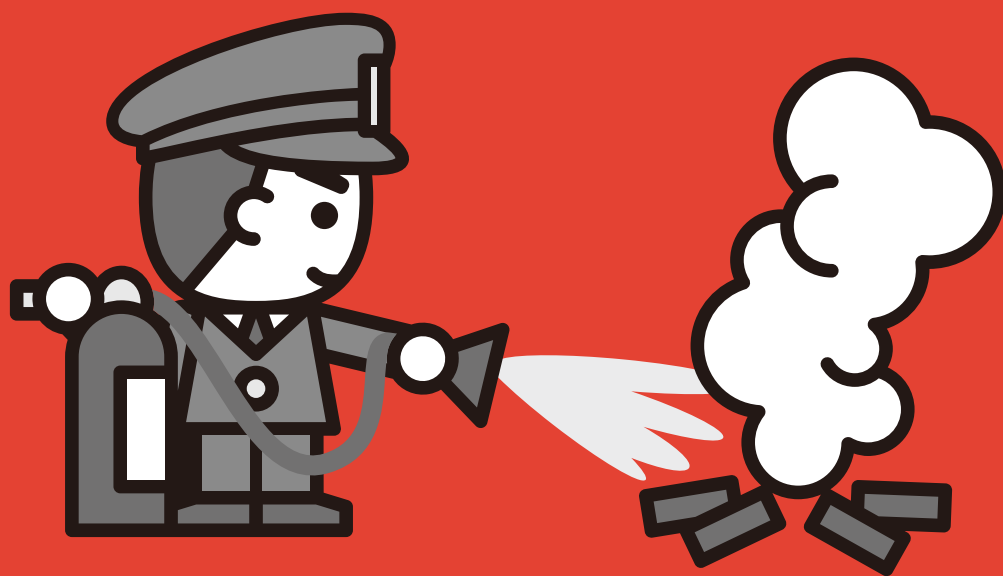
()は衛星利用回線

2. 119 通報受信状況

(令和5年中)

種別 月別	火災	救急	救助	問合せ	試験	悪戯	間違い	その他	転送 送信	FAX 転送	119 網切	合計
1 月	15	817	3	63	27	2	51	72	10	0	0	1,060
2 月	19	535	2	61	43	4	57	67	10	0	2	900
3 月	19	657	2	79	29	5	82	84	10	0	0	967
4 月	18	595	5	69	40	2	57	73	12	5	0	876
5 月	24	681	3	83	28	3	84	77	10	3	1	997
6 月	9	577	5	55	30	0	90	73	8	4	0	851
7 月	5	747	5	110	63	8	73	129	14	0	1	1,155
8 月	12	858	5	111	39	1	78	104	9	0	0	1,215
9 月	12	703	2	74	20	7	60	117	16	0	0	1,011
10 月	18	725	2	44	28	2	45	67	12	0	0	943
11 月	14	690	10	62	24	11	61	105	6	0	0	983
12 月	36	760	5	39	20	1	66	68	16	0	0	1,011
合 計	201	8,443	49	850	391	46	804	1,036	133	12	4	11,969

予 防



1. 防火対象物の現況（150㎡以上の棟数を計上）

（令和6年3月31日現在）

市 町 村 区 分			荒 尾 市	玉 名 市	玉 東 町	南 関 町	長 洲 町	和 水 町	合 計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	4	2	2	0	1	2	11
	ロ	公会堂、集会場	19	21	3	6	5	6	60
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	18	6	0	1	1	0	26
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ店等	3	1	0	0	0	0	4
3	イ	待合、料理店の類	1	2	0	0	0	0	3
	ロ	飲食店	45	48	1	7	5	9	115
4		百貨店、マーケット、店舗	80	126	7	12	19	14	258
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	6	25	0	6	7	4	48
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	303	518	7	39	51	12	930
6	イ	病院、診療所、助産所	55	59	2	4	10	4	134
	ロ	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、 有料老人ホーム（重度）、介護老人保健 施設、認知症高齢者グループホーム等	38	65	4	12	8	11	138
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、 老人福祉センター、老人介護支援セ ンター等	58	78	3	12	13	23	187
	ニ	幼稚園、特別支援学校	17	5	0	1	0	0	23
7		小・中・高・大学、各種学校の類	74	130	8	11	13	12	248
8		図書館、博物館、美術館の類	2	3	0	1	1	2	9
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0	1	0	0	0	0	1
	ロ	一般公衆浴場	1	3	1	0	0	3	8
10		車両の停車場、船舶・航空機の発着場	1	1	0	0	1	0	3
11		神社、寺院、教会等の類	27	58	4	16	10	11	126
12	イ	工場、作業場	188	238	23	116	135	115	815
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場	12	29	2	4	11	4	62
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	71	205	18	39	44	55	432
15		前各号に該当しない事業所	183	361	25	86	87	172	914
16	イ	複合用途防火対象物で、1～4項、5項イ、 6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途 に供される部分が存するもの。	104	166	14	21	18	19	342
	ロ	複合用途防火対象物で、5項ロ、7～8項、 9項ロ～15項に掲げる防火対象物の用途 に供される部分が存するもの。	49	102	13	22	20	16	222
17		重要文化財、重要美術品等の建造物	6	0	0	1	0	1	8
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	0	0	0	0	0
合 計			1,365	2,253	137	417	460	495	5,127

2. 建築確認同意事務処理状況

(令和6年3月31日現在)

市 町 村			荒尾市	玉名市	玉東町	南関町	長洲町	和水町	合 計
区 分									
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂、集会場	0	1	0	0	0	0	1
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ店等	0	0	0	0	0	0	0
3	イ	待合、料理店の類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	1	1	0	0	0	0	2
4		百貨店、マーケット、店舗	5	4	0	0	0	0	9
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	1	1	0	0	0	0	2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	8	4	0	0	1	0	13
6	イ	病院、診療所、助産所	3	4	0	0	0	0	7
	ロ	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム（重度）、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム等	0	1	0	0	0	0	1
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター等	2	4	0	0	0	0	6
	ニ	幼稚園、特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0
7		小・中・高・大学、各種学校の類	1	2	0	0	1	1	5
8		図書館、博物館、美術館の類	0	0	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	一般公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場、船舶・航空機の発着場	0	0	0	0	0	0	0
11		神社、寺院、教会等の類	1	1	0	0	0	0	2
12	イ	工場、作業場	7	5	0	3	5	0	20
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場	1	1	0	0	0	0	2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	1	6	0	0	0	0	7
15		前各号に該当しない事業所	7	6	0	0	0	0	13
16	イ	複合用途防火対象物で、1～4項、5項イ、6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するもの。	1	0	1	0	1	0	3
	ロ	複合用途防火対象物で、5項ロ、7～8項、9項ロ～15項に掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するもの。	1	1	0	0	0	0	2
併 用 住 宅			0	0	0	0	0	0	0
専 用 住 宅			8	17	0	0	3	1	29
そ の 他			6	8	0	0	1	0	15
合 計			54	67	1	3	12	2	139

3. 中高層建築物（4階以上）の現況

（令和6年3月31日現在）

防 火 対 象 物 区 分			4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階 以上	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂、集会場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室ビデオ店等	0	1	0	0	0	0	0	0	1
3	イ	待合、料理店の類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		百貨店、マーケット、店舗	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	2	5	0	3	1	0	1	0	12
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	84	31	3	0	4	1	3	10	136
6	イ	病院、診療所、助産所	6	2	2	0	0	0	0	0	10
	ロ	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、 有料老人ホーム（重度）、介護老人保健 施設、認知症高齢者グループホーム等	2	2	0	0	0	0	0	0	4
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホー ム、老人福祉センター、老人介護支援セ ンター等	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	ニ	幼稚園、特別支援学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		小、中、高、大学、各種学校の類	6	0	1	0	0	0	0	0	7
8		図書館、博物館、美術館の類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	一般公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場、船舶・航空機の発着場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		神社、寺院、教会等の類	0	1	0	0	0	0	0	0	1
12	イ	工場、作業場	8	3	0	0	0	0	0	0	11
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		前各号に該当しない事業所	9	7	0	0	0	0	0	0	16
16	イ	複合用途防火対象物で、1～4項、5項イ、 6項又は9項イに掲げる防火対象物の用途 に供される部分が存するもの。	12	3	3	0	1	0	0	0	19
	ロ	複合用途防火対象物で、5項ロ、7～8項、 9項ロ～15項に掲げる防火対象物の用途 に供される部分が存するもの。	4	1	1	0	0	0	0	0	6
17		重要文化財、重要美術品等の建築物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計			134	56	10	3	6	1	4	10	224

4. 防火対象物定期点検報告制度の現況

(令和6年4月1日現在)

防火対象物の区分		定期点検対象物数				特例認定件数		点検報告件数	
		第1号該当 複数権原		第2号該当 複数権原		第1号 該 当	第2号 該 当	第1号 該 当	第2号 該 当
1	イ	6	0	0	0	0	0	5	0
	ロ	42	0	0	0	6	0	28	0
2	イ	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	8	0	0	0	2	0	6	0
	ハ	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	0	0	1	0	0	0	0	1
3	イ	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	0	0	0	0	0	0	0	0
4		44	0	0	0	3	0	35	0
5	イ	5	0	3	0	2	2	3	1
6	イ	7	0	0	0	1	0	4	0
	ロ	0	0	2	0	0	0	0	2
	ハ	1	0	0	0	1	0	0	0
	ニ	0	0	0	0	0	0	0	0
9	イ	1	0	0	0	0	0	1	0
16	イ	33	1	2	1	5	0	22	2
合 計		147	1	8	1	20	2	104	6

5. 特例認定通知書交付状況

(令和6年4月1日現在)

番号	項	対 象 物 名	市 町	番号	項	対 象 物 名	市 町
1	1項ロ	いしはらやすらぎ岱明斎場	玉名市	12	5項イ	グリーンランドホテルヴェルデ	荒尾市
2	1項ロ	大 麻 文 化 会 館	玉名市	13	5項イ	司 ロ イ ヤ ル ホ テ ル	玉名市
3	1項ロ	やすらぎ長洲斎場	長洲町	14	5項イ	八 芳 園	玉名市
4	1項ロ	長洲町町民研修センター	長洲町	15	5項イ	ビジネスインうめさき	長洲町
5	1項ロ	和水町春富集会センター	和水町	16	6項イ	有 働 病 院	荒尾市
6	1項ロ	かずやコスメディア小岱斎場	玉名市	17	6項ハ	南関こどもの丘保育園	南関町
7	2項ロ	マ ル ハ ン 荒 尾 店	荒尾市	18	16項イ	ゆめタウンシティモール	荒尾市
8	2項ロ	ダイナム熊本長洲店	長洲町	19	16項イ	荒尾総合文化センター	荒尾市
9	4項	荒尾ファッションモール	荒尾市	20	16項イ	玉 名 市 文 化 セ ン タ ー	玉名市
10	4項	ダイレックス荒尾店	荒尾市	21	16項イ	玉 名 市 福 祉 セ ン タ ー	玉名市
11	4項	ファッションセンターしまむら長洲店	長洲町	22	16項イ	有明成仁病院/聖ルカ苑	長洲町

6. 防火管理講習会実施状況

年 別	実 施 回 数	受講申込者数	受 講 者 数	修了証交付数
平成31年	甲種新規 2	106	103	103
	甲種再 1	21	18	18
令和2年	甲種新規 2	85	82	82
	甲種再 1	20	20	20
令和3年	甲種新規 1	54	53	53
	甲種再 1	21	19	19
令和4年	甲種新規 2	97	91	91
	甲種再 1	30	30	30
令和5年	甲種新規 2	112	109	109
	甲種再 1	20	19	19

7. 各種届出事務処理状況

(令和5年度)

届 出 種 別	届出件数	届 出 種 別	届出件数
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	198	水素ガスを充てんする気球の設置届	0
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	257	火災と紛らわしい煙又は火災を発する おそれのある行為の届	414
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	5	煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	124
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	286	催 物 開 催 届	1
防災の消防計画作成(変更)届	11	水 道 断 減 水 届	2
炉・かまど・ボイラー設置届	26	道 路 工 事 届	452
乾 燥 設 備 設 置 届	8	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	55
火花を発生する設備設置届	0	少量危険物貯蔵取扱廃止届	32
発 電 設 備 設 置 届	23	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	43
変 電 設 備 設 置 届	56	圧縮アセチレンガス・液化石油ガス 貯 蔵 又 は 取 扱 の 開 始 届	45
蓄 電 池 設 備 設 置 届	12	禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	14
ネオン管灯設備設置届	0	液化石油ガス設備工事届出書	5

8. 荒玉地区幼少年女性防火委員会

(1) 目 的

本会は、防火防災意識の高揚と防火知識の普及を図るため、住民の自主防火組織としての幼年消防クラブ・少年消防クラブ及び女性防火クラブの組織づくりと運営等について、指導及び助言し、防火クラブの健全な育成発展に寄与することを目的とする。

(2) 幼年消防クラブ結成状況

(令和6年4月1日現在)

	幼稚園・保育所名	結成年月日	クラブ員数		幼稚園・保育所名	結成年月日	クラブ員数
1	木葉昭和児童園	昭和28年10月1日	21名	17	なかよし保育園	63年3月1日	36名
2	おおとりの丘認定こども園	56年4月1日	13名	18	長洲ひまわり幼稚園	63年4月1日	66名
3	山北保育園	58年1月3日	21名	19	長洲こどもの海保育園	63年4月1日	35名
4	大野保育園	58年6月1日	14名	20	認定こども園みやじま幼稚園	平成元年4月1日	36名
5	鍋保育園	58年6月1日	8名	21	和水町立神尾保育園	元年10月1日	42名
6	睦合保育園	58年6月1日	10名	22	ぬかみね保育園	5年1月31日	29名
7	高道保育園	58年6月1日	11名	23	岱明幼稚園	5年4月1日	25名
8	たまきな幼稚園	60年4月1日	55名	24	春富保育園	10年3月1日	7名
9	小天保育園	61年4月1日	26名	25	荒尾市清里保育園	11年4月1日	19名
10	小鳩幼稚園	61年4月1日	28名	26	菊水ひまわり園	16年9月1日	33名
11	第二四ッ山幼稚園	62年3月1日	110名	27	玉水保育園	20年10月1日	23名
12	横島幼稚園	62年4月1日	9名	28	南関こどもの丘保育園	22年10月29日	68名
13	横島保育園	62年4月1日	20名	29	カンガルー保育園	22年10月29日	34名
14	あおば保育園	62年4月1日	25名	30	滑石保育園	30年1月1日	16名
15	荒尾四ッ山幼稚園	62年12月1日	22名	合計	30クラブ	904名	
16	長洲しおかぜこども園	63年2月1日	42名				

(3) 女性防火クラブ結成状況 (令和6年4月1日現在)

	団 体 名	結 成 年 月 日	隊員数
1	白寿園女性消防隊	平成6年5月16日	45名
2	有働病院女性消防隊	〃 6年5月16日	50名
計	2 団 体		95名

9. 有明地区危険物安全協会

目 的

有明地区協会は、危険物の安全管理の徹底並びに会員相互の融和と親睦を図り、危険物に起因する災害防止に努め、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

事 業

有明地区協会は上記の目的を達成するため次に掲げる事業を行う。

- (1) 会員相互間及び関係官公庁との連絡調整
- (2) 防火思想の普及向上
- (3) 上記の目的に係る各種情報及び資料の収集並びにこれらの頒布
- (4) その他有明地区協会の目的を達成するに必要な事業

組 織

(役員数)

(令和6年3月31日現在)

会 長	副 会 長	会 計	監 事	幹 事	代 議 員	会 員	事 務 局
1 名	3 名	1 名	2 名	2 名	1 9 名	1 9 2 名	2 名

(会員数)

(令和6年3月31日現在)

荒 尾 分 会	39名	玉 名 分 会	46名	玉 名 分 会 岱 明 地 区	17名	玉 名 分 会 横 島 地 区	6名
玉 名 分 会 天 水 地 区	8名	玉 東 分 会	10名	南 関 分 会	17名	長 洲 分 会	29名
和 水 分 会	15名	賛 助 会 員	5名	合 計		1 9 2 名	

10. 危険物施設状況

(令和6年3月31日現在)

製造所等の別 市の町別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				事 業 所 数	
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 所	屋 内 タ ン ク 所	地 下 タ ン ク 所	簡 易 タ ン ク 所	移 動 タ ン ク 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 所	第 二 種 販 売 所		一 般 取 扱 所
荒 尾 市	120	8	61	14	27	1	15	1	2	1	51	23	0	0	28	73
玉 名 市	188	0	101	8	24	4	41	1	23	0	87	50	0	0	37	142
玉 東 町	14	0	6	1	1	0	4	0	0	0	8	6	0	0	2	14
南 関 町	39	0	18	8	5	0	4	0	0	1	21	10	0	0	11	31
長 洲 町	91	0	56	24	13	1	11	0	3	4	35	14	0	0	21	50
和 水 町	30	1	12	5	1	0	5	0	1	0	17	15	0	0	2	27
合 計	482	9	254	60	71	6	80	2	29	6	219	118	0	0	101	337

(1) 類別危険物施設の数調

(令和6年3月31日現在)

製造所等の別 類別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 所	第 二 種 販 売 所	一 般 取 扱 所
第 1 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第 2 類	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第 3 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第 4 類	478	8	251	57	71	6	80	2	29	6	219	118	0	101	
第 5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
第 6 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
混 在	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	482	9	254	60	71	6	80	2	29	6	219	118	0	101	

(2) 数量別危険物施設の数調

(令和6年3月31日現在)

製造所等の別 数量の別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小 計	給油取扱所	第一種販売所	第二種販売所	一般取扱所
5 倍 以 下	154	1	110	22	13	3	43	2	26	1	43	6	0	0	37
5 倍 を 超 え 下 10 倍 以 下	108	1	51	16	12	2	17	0	0	4	56	21	0	0	35
10 倍 を 超 え 下 50 倍 以 下	133	3	76	17	37	1	17	0	3	1	54	29	0	0	25
50 倍 を 超 え 下 100 倍 以 下	35	1	11	4	4	0	3	0	0	0	23	21	0	0	2
100 倍 を 超 え 下 150 倍 以 下	14	0	2	0	2	0	0	0	0	0	12	12	0	0	0
150 倍 を 超 え 下 200 倍 以 下	17	1	2	0	2	0	0	0	0	0	14	12	0	0	2
200 倍 を 超 え 下 1,000 倍 以 下	21	2	2	1	1	0	0	0	0	0	17	17	0	0	0
1,000 倍 を 超 え 下 5,000 倍 以 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5,000 倍 を 超 え 下 10,000 倍 以 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10,000 倍 以 上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	482	9	254	60	71	6	80	2	29	6	219	118	0	0	101

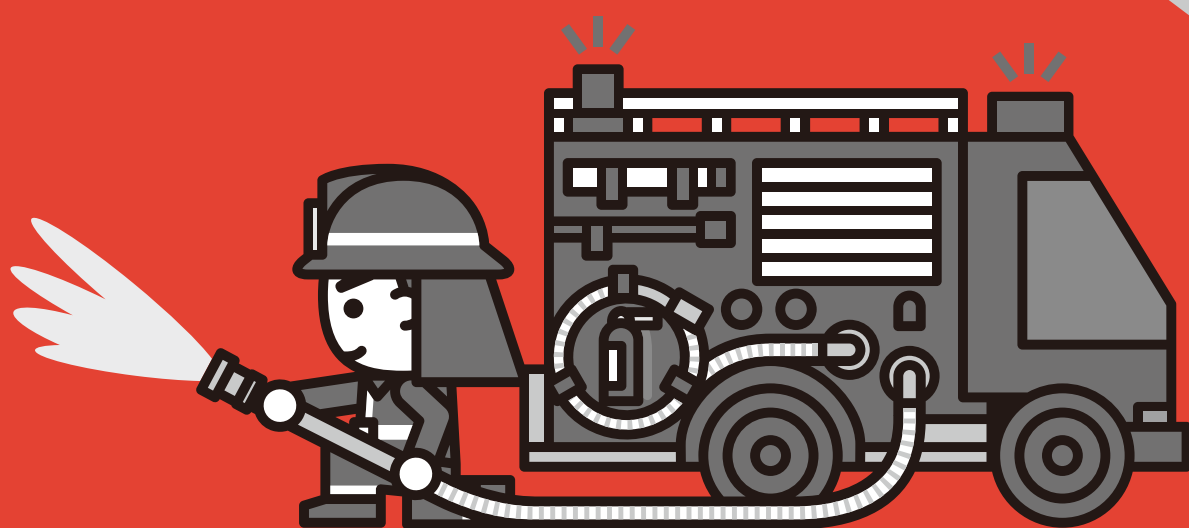
11. 危険物施設の許認可状況

(令和5年度中)

製造所等の別 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 所	屋 内 タ ン ク 所	地 下 タ ン ク 所	簡 易 タ ン ク 所	移 動 タ ン ク 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 所	第 二 種 販 売 所	一 般 取 扱 所
設 置 許 可	12	1	5	4	0	0	1	0	0	0	6	1	0	0	5
変 更 許 可	41	4	3	1	0	1	1	0	0	0	34	19	0	0	15
完 成 検 査	49	6	9	4	2	0	3	0	0	0	34	17	0	0	17
水 張 検 査	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
水 圧 検 査	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1
仮 使 用 承 認	31	4	3	1	0	1	1	0	0	0	24	13	0	0	11
廃 止 届	16	0	10	4	3	0	2	0	1	0	6	2	0	0	4

※変更許可には変更許可（他行政庁）の数も含まれます。

火災状況



1. 火災概況（過去5年間）

年 別 区 分	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
火 災 発 生 件 数（件）	93	89	112	103	110
り 災 世 帯 数（世帯）	14	28	21	26	23
り 災 人 員 数（人）	40	61	44	66	49
焼 損 棟 数（棟）	32	53	51	46	52
建 物 焼 損 面 積（㎡）	735.61	2,902.52	2,517.79	2,098.27	3,180.19
林 野 焼 損 面 積（a）	105.15	54.1	162.23	99.50	29.70
損 害 見 積 額（千円）	24,820	86,031	104,864	57,417	91,187
死 者（人）	2	2	4	2	4
傷 者（人）	7	7	9	12	17
月 平 均 火 災 件 数（件）	7.75	7.42	9.33	8.58	9.17
月 平 均 り 災 世 帯 数（世帯）	1.17	2.33	1.75	2.17	1.92
月 平 均 焼 損 棟 数（棟）	2.67	4.42	4.25	3.83	4.33
建物火災1件当り焼損面積（㎡）	29.42	87.96	81.22	74.94	102.59
住 民 1 人 当 り 損 害 額（円）	155.18	547	669.75	372.49	597.96
1 世 帯 当 り 損 害 額（円）	359.03	1,236	1,504.63	829.75	1,311.21
建物火災1件当り損害額（千円）	992.80	2,607	3,382.71	2,050.61	2,941.52

(令和5年中)

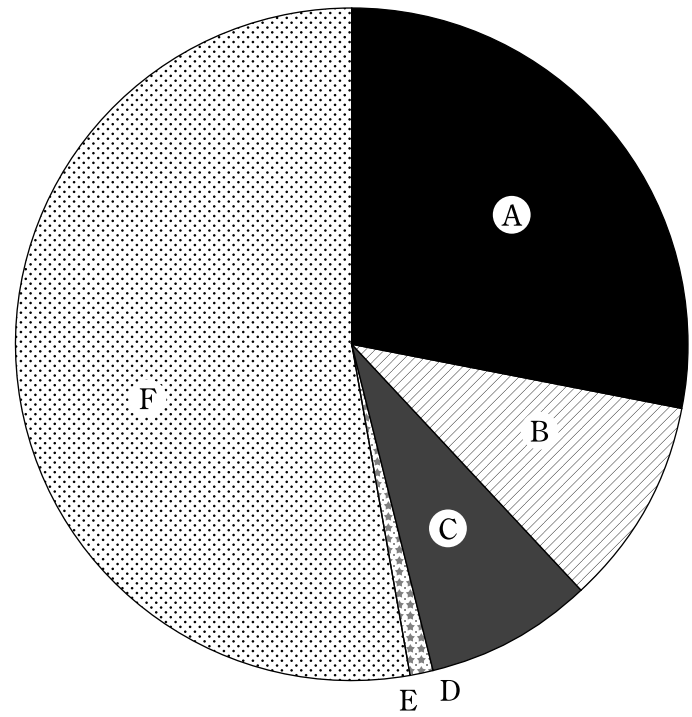
区分 月	出火件数					損害額 (単位：千円)	焼損棟数				り災世帯			焼損面積			死者		負傷者		
	計	建物	林野	車両	船舶		その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや焼	全	半	小	建物	林野	その他	消防団員	消防吏員	消防団員	負傷者
1月	8	4	1	0	0	3	14,399	1	0	2	1	0	0	2	135.00	3.00	0.00	0	0	0	0
2月	8	3	2	0	0	3	1,001	1	0	1	3	1	0	3	60.00	11.00	9.00	0	0	0	3
3月	12	4	1	0	0	7	18,130	4	0	2	1	1	0	1	587.00	0.20	62.20	0	0	1	2
4月	9	2	2	1	0	4	13,834	2	0	1	5	1	0	5	180.70	3.00	31.10	0	0	0	3
5月	10	3	1	2	0	4	11,001	1	0	1	2	0	0	1	139.00	0.00	10.50	0	0	1	1
6月	4	2	0	0	0	2	2,522	1	0	1	2	0	0	1	898.00	0.00	4.90	0	0	0	3
7月	5	2	0	1	0	2	5,371	2	0	1	2	1	0	0	259.53	0.00	0.70	0	0	0	1
8月	8	0	0	1	0	7	91	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	10.27	0	0	0	0
9月	8	4	0	1	0	3	6,904	1	0	2	1	1	0	1	398.00	0.00	34.60	0	0	1	1
10月	19	3	1	0	0	15	516	0	0	2	1	0	0	2	10.00	3.00	31.13	0	0	0	1
11月	10	1	1	2	1	5	3,838	1	0	1	0	0	0	0	176.00	0.00	0.90	0	0	0	1
12月	9	3	2	1	0	3	13,580	2	1	2	1	2	0	0	336.96	9.50	0.00	0	0	1	0
合計	110	31	11	9	1	58	91,187	16	1	16	19	7	0	16	3,180.19	29.70	195.30	0	0	4	16

(1) 市町別火災状況

(令和5年中)

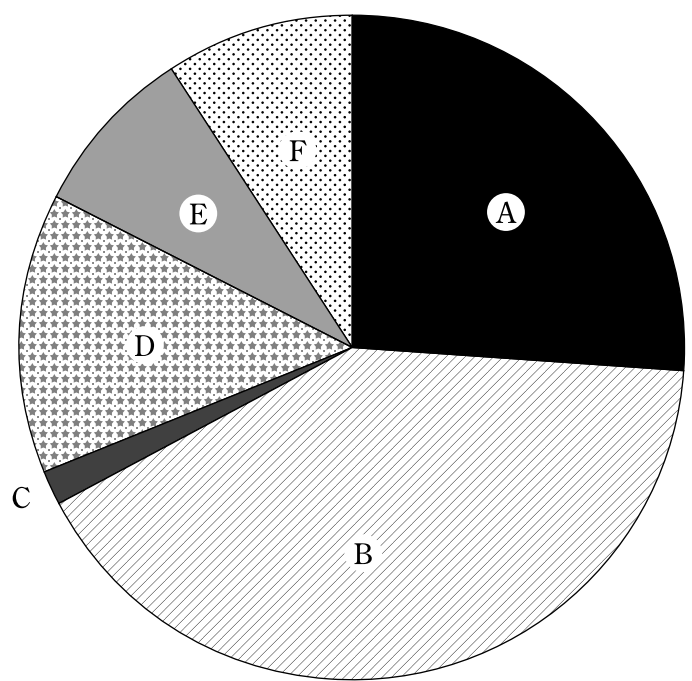
区 分	出 火 件 数				焼 損 棟 数				焼 損 面 積				死 傷 者 数		り 災 世 帯			り 災 者 数	損 害 見 積 額 (単位：千円)											
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 (㎡)	林 野 (a)	そ の 他 (a)	死 者	傷 者	全 損		半 損	小 損	合 計	建 物	物 収 容 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発		
市町別																														
荒尾市	29	10	2	4	1	12	17	4	0	6	7	764.93	0.00	20.10	1	6	2	0	6	19	36,801	23,005	18,920	4,085	0	745	50	13,001	0	
玉名市	45	13	4	4	0	24	24	8	0	6	10	1,942.26	12.50	77.05	1	9	4	0	7	18	31,658	27,107	21,917	5,190	0	3,753	0	798	0	
玉東町	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.00	0.00	7.20	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	35	0	
南関町	15	4	2	0	0	9	6	2	1	3	0	295.00	11.00	7.30	0	0	1	0	2	7	11,675	11,109	9,794	1,315	0	110	0	456	0	
長洲町	9	1	0	0	0	8	2	1	0	1	0	137.00	0.00	33.63	1	0	0	0	0	0	7,659	7,312	7,012	300	0	133	0	214	0	
和水町	10	3	3	1	0	3	3	1	0	0	2	41.00	6.20	50.02	1	2	0	0	1	5	3,359	2,141	1,736	405	0	539	0	679	0	
合 計	110	31	11	9	1	58	52	16	1	16	19	3,180.19	29.70	195.30	4	17	7	0	16	49	91,187	70,674	59,379	11,295	0	5,280	50	15,183	0	
令和4年 合 計	103	28	8	7	0	60	46	14	2	16	14	2,098.27	99.50	467.29	2	12	6	1	19	66	57,417	48,826	39,953	8,873	12	6,068	0	2,511	0	
令和4年 に対する 増 減	7	3	3	2	1	△	6	2	1	0	5	1,081.92	69.80	△	2	5	1	△	△	17	33,770	21,848	19,426	2,422	△	△	788	50	12,672	0

(2) 火災種別件数比較表



A	建	物	31	(28.2%)	
B	林	野	11	(10.0%)	
C	車	両	9	(8.2%)	
D	船	舶	1	(0.9%)	
E	航	空	機	0	(0.0%)
F	そ	の	他	58	(52.7%)
計			110件		

(3) 市町別火災発生件数



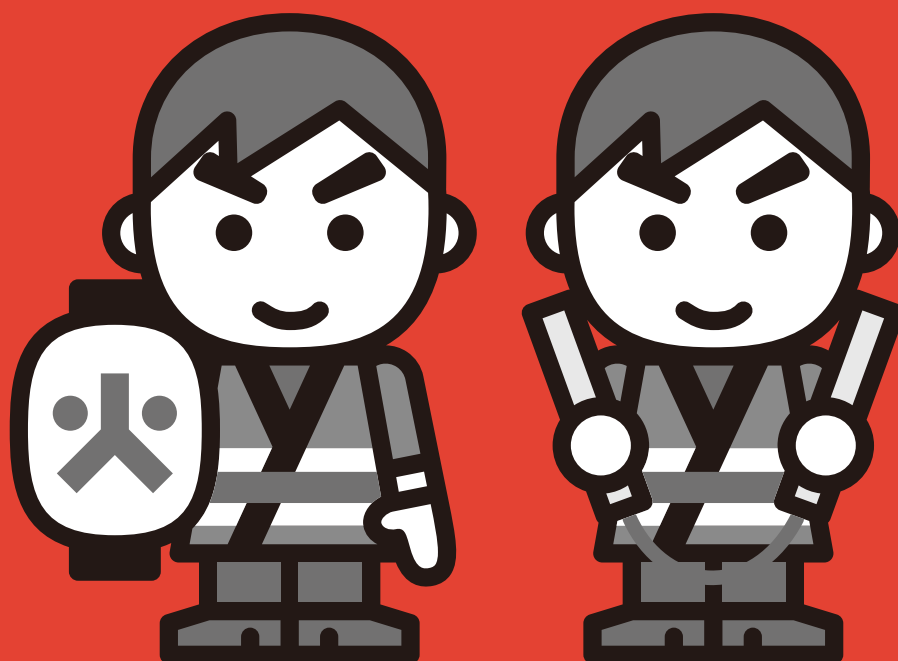
A	荒	尾	市	29	(26.4%)
B	玉	名	市	45	(40.9%)
C	玉	東	町	2	(1.8%)
D	南	関	町	15	(13.6%)
E	長	洲	町	9	(8.2%)
F	和	水	町	10	(9.1%)
計			110件		

3. 火災原因別出火件数調

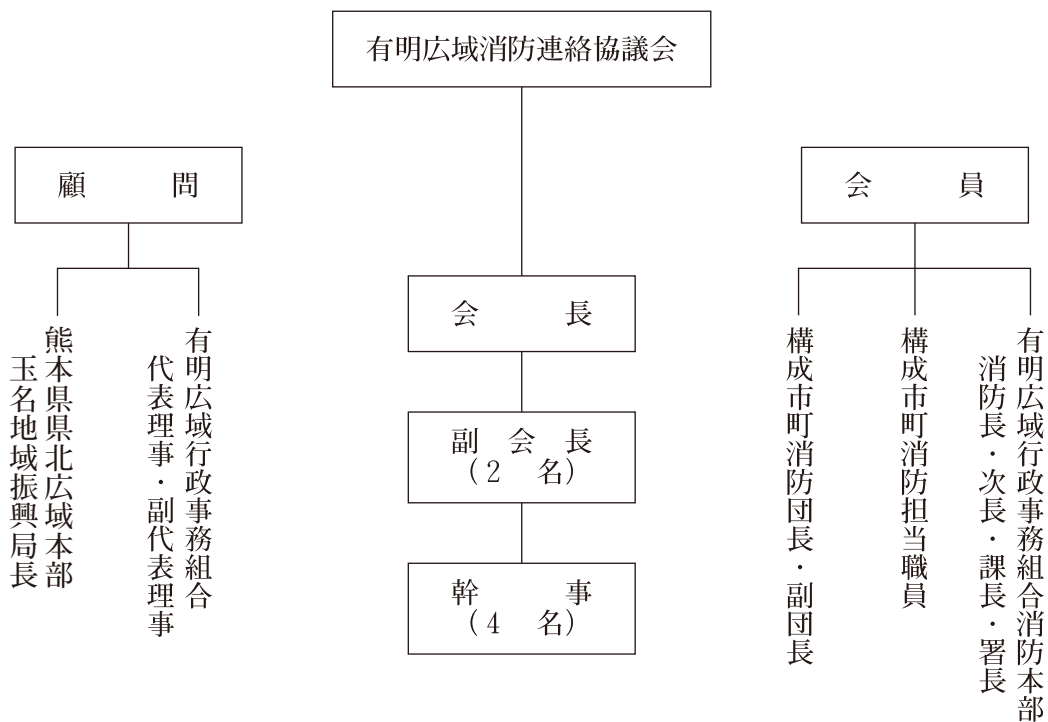
(令和5年中)

区 分 原 因	建 物		林 野		車 両		船 舶		そ の 他		合 計	
	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)	件数	損害額 (単位:千円)
たばこ	4	16,234	1	0	0	0	0	0	1	0	6	16,234
こんろ	3	9,288	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9,288
かまど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風呂かまど	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
焼却炉	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0
ストーブ	2	868	0	0	0	0	0	0	0	0	2	868
こたつ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボイラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
煙突・煙道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排気管	0	0	0	0	2	60	0	0	0	0	2	60
電気機器	2	10,006	0	0	0	0	0	0	0	0	2	10,006
電気装置	1	14	0	0	1	88	0	0	0	0	2	102
電灯・電話等の配線	1	3,769	0	0	0	0	0	0	4	105	5	3,874
内燃機関	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12,638	1	12,638
配線器具	2	6	0	0	0	0	0	0	2	456	4	462
火あそび	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
マッチ・ライター	0	0	0	0	1	650	0	0	0	0	1	650
たき火	3	4,597	6	24	0	0	0	0	25	255	34	4,876
溶接機・切断機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
灯 火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
衝突の花火	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
取 灰	1	27	0	0	0	0	0	0	1	0	2	27
火 入 れ	0	0	2	0	0	0	1	68	8	0	11	68
放 火	4	11,092	0	0	2	710	0	0	1	1	7	11,803
放火の疑い	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6
そ の 他	3	13,113	0	0	2	2,899	0	0	10	0	15	16,012
不明・調査中	2	4,208	2	0	0	0	0	0	3	0	7	4,208
合 計	31	73,233	11	24	9	4,407	1	68	58	13,455	110	91,187

消 防 団



1. 有明広域消防連絡協議会の組織



2. 市町別消防団員数調

(令和6年4月1日)

市 町 名	定 数	実 数		
		男性	女性	合計
荒 尾 市	550 人	395 人	18 人	413 人
玉 名 市	1,500 人	1,268 人	14 人	1,282 人
玉 東 町	220 人	185 人	15 人	200 人
南 関 町	450 人	337 人	13 人	350 人
長 洲 町	460 人	391 人	24 人	415 人
和 水 町	450 人	375 人	23 人	398 人
計	3,630 人	2,951 人	107 人	3,058 人

3. 市町別消防団の消防車等保有状況

(令和6年4月1日現在)

市 町 別	消防ポンプ 自 動 車	可搬動力ポンプ 積 載 車	小型動力ポンプ のみ	広 報 車	編成分団数
荒 尾 市	2	27	0	1	10
玉 名 市	0	89	12	1	10
玉 東 町	0	13	0	1	6
南 関 町	1	21	0	0	4
長 洲 町	0	17	0	0	4
和 水 町	0	36	5	0	7
計	3 台	203台	17台	3台	41分団

(1) 組合役職者

役 職 名 等		氏 名	備 考
代 表 理 事	荒 尾 市 長	浅 田 敏 彦	
副代表理事	玉 東 町 長	前 田 移 津 行	消防担当 東部環境施設担当
理 事	玉 名 市 長	藏 原 隆 浩	斎場担当 衛生施設担当
	南 関 町 長	佐 藤 安 彦	介護保険担当
	長 洲 町 長	中 逸 博 光	クリーンパークファイブ 施設担当
	和 水 町 長	石 原 佳 幸	
会計管理者		有明広域行政事務組合	松 野 成 剛
議 会	議 長	長 洲 町	松 井 一 也
	副議長	南 関 町	杉 村 博 明
監 査 委 員	議 選 員 任	玉 名 市	北 本 将 幸
	知識経験者 選 任	荒 尾 市	近 藤 克 也
消 防 長		村 上 和 浩	

(2) 組合議員

市 町 名	氏 名
荒 尾 市	古 城 義 郎 前 田 裕 二 木 村 誠 一 野 田 ゆ み
玉 名 市	浜 田 繁 次 郎 立 川 信 之 一 瀬 重 隆 北 本 将 幸 中 尾 嘉 男
玉 東 町	功 刀 圭 一 林 和 廣
南 関 町	西 田 恵 介 杉 村 博 明
長 洲 町	松 井 一 也 濱 崎 久
和 水 町	亀 崎 清 貴 坂 本 敏 彦

(3) 消防団長等

(令和6年7月現在)

市 町 名	消 防 団 長	消防副団長	消防担当者
荒 尾 市	西 田 学	小 川 佳 宏 上 田 清 史 松 村 浩 哲	江 崎 清 人
玉 名 市	池 田 篤 治	伊 藤 潤 島 野 勇 一 寺 井 博 敏 早 高 竜 一	中 山 陽 介
玉 東 町	菅 本 勝 広	岩 本 貴 史 荒 木 武 三	土 山 修
南 関 町	西 川 清	中 村 三 雄 後 藤 聡	大 倉 弘
長 洲 町	杉 本 和 明	吉 田 勇 人 左 村 謙 明 益 永 周 房 池 上 公 紀	荒 木 功
和 水 町	小 山 亮	松 石 淳 福 山 憲 司	内 野 嘉 倫

— 消 防 年 報 —

令和6年7月発行

発行所 有明広域行政事務組合消防本部
〒865-0065 玉名市築地309番地1
電話 0968 (71) 0119
FAX 0968 (74) 0030

編集兼
発行人 有明広域行政事務組合消防本部

印刷所 荒尾市高浜1825-20
株式会社 ベ ス ト
電話0968-68-7714

